

TAXAN マウスペン ユーザーズ ガイド

Version 3.04



序文

マウスペンのユーザーガイドによろこそ。このガイドはマウスペンの操作及び使用方法について記載しています。

本ガイドには次の章が含まれます：

- **第1章I マウスペンの紹介、1 ページ**

マウスペンを紹介し、その基本的な機能及び構成部品について説明。

- **第2章、マウスペン アプリケーションのインストール、7 ページ**

デバイスのパッケージの内容物及びシステム要求に加えて、マウスペンのソフトウェアのインストールのプロセスについて説明。

- **第3章、マウスペンの使用、15 ページ、マウスペンの基本的な操作に加えて、その維持の方法について説明。又、マウスペンのスタートする際の簡単な指導書を紹介。**

- **第4章、ペン&インク エディターのアプリケーションの使用、37 ページ、マウスペンとペン&インク エディターアプリケーションとの使い方について説明。**

- **第5章、スナップショット アプリケーションの使用、80 ページ、スナップショットアプリケーションを使ってスクリーンと編集画像をとらえる方法について説明。**

- **第6章、マウスペンと他のアプリケーションとの使用、93 ページ、マウスペンと他のアプリケーションとの使い方について説明。**

- **第7章、デバイス プロパティの設定、101 ページ、マウスペンのデバイス設定をカスタマイズし、その操作の様々な状況をコントロールする方法について説明。**

- **付録A、トラブルシューティング、113 ページ**

ご利用のマウスペンで作業をする際に直面する最も一般的な問題とそれらを解決する方法について説明。



目次

このガイドで使用されている決まり事	vii
第1章: マウスペンの紹介	1
概観	2
マウスペン	2
レシーバー	3
マウスペンを使って作業する	4
第2章: マウスペン アプリケーションのインストール	3
パッケージの内容物	8
システム要求	8
ソフトウェアのインストール	9
第3章: マウスペンの使用	15
スタートする	16
ステップ 1: マウスペンと慣れ親しむ	16
ステップ 2: ソフトウェアをインストールする	17
ステップ 3: レシーバーを一枚の用紙にクリップで止める	17
ステップ 4: ペンやマウスとして動かす	18
ホイール	23
サポートされたビスタの機能性	25
ビスタにおけるマウスペンのデバイス プロパティ	30
ビスタでマウスペンを使って書く	31
ウィンドウズ ビスタにおけるオフィス 2007 との作業	32
マウスペンの保守	34
マウスペン電池の挿入	34
ペン先の挿入	36

第4章 ペン&インク エディター アプリケーションの使用 37

ペン&インク エディターのメインウィンドウ.....	39
メニューバー	40
ツールバー.....	43
ページウィンドウ枠.....	44
書き込みエリア	44
編集.....	44
インク プロパティの編集	44
ページ プロパティの編集	44
ご利用のドキュメントをカスタマイズさせる為の多くのオプション.....	44
ナビゲート	44
ドキュメント内をページからページへの移動	44
保存	44
印刷.....	44
ドキュメントをEメールする.....	44
ドキュメントをエクスポートする.....	44

第5章 : スナップショット アプリケーションの使用 80

概観.....	81
スナップショット ツールバー.....	82
画像をキャプチャする	44
画像上に書き込む	44
ペン/マーカー設定の編集	44
 ペン線の幅の変更	44
 マーカーの幅の変更	44
 消去	44
 線の色の変更	44
 取り消しとやり直しボタンの使用	44

第6章 : マウスペンと他のアプリケーションとの使用 44

マイクロソフト オフィス アプリケーション	44
使用されていないゾーン	44
編集	44
グラフィック アプリケーション	44
ゲーム アプリケーション	44
スペースクラッシャーズ ゲーム	44
第7章：：デバイス プロパティの設定	101
概観	101
レシーバーの設定	44
マウス運動速度の設定	44
カスタム ホイール アプリケーションの設定	44
付録 A: トラブルシューティング	44
インストラクション	44
マウスペンの操作	44
スナップショット	44
マイクロソフト オフィス	44



このガイドに使用され ている決まり事



注:

注記



重要:

重要な情報



助言:

ヒントになる情報やアドバイス

システムサポート

最小要求性能:

- CPU 動作周波数 1 GHz 以上
- ハードディスク空き容量: 200MB
- RAM: 256MB (推奨 512MB)
- USB コネクタ: USB 1.1/2.0

オペレーティングシステムサポート:

- Windows Vista (32bit versions): Home Basic, Home Premium, Ultimate, Enterprise, Business
- Windows XP - Home and Pro versions
- Windows 2000 - workstation version

MS Office サポート:

- Office XP: Word, PowerPoint
- Office 2003: Word, PowerPoint
- Office 2007: Word, PowerPoint



第 1 章

マウスペンの紹介



この章について

この章はマウスペンを紹介し、その基本的な機能及び構成部品について記載しています。それには次の項が含まれます：

- **概観**、マウスペンを紹介し、その主要となる構成部品の概観について説明をします。
- **マウスペンを使って作業する**, マウスペンの使い方の説明をします。

概要

マウスペンは大変便利なパソコン周辺機器です。マウスペンを使って、コンピューターに手書きのメモや図形を表示する事ができます。

特別な用紙やメモ帳が必要ありません。

マウスとして使う事ができます。

マウスペンを使って手書き作成した文字や図形は、ファイルとして保存できるためEメールなどを使って送信することが出来ます。

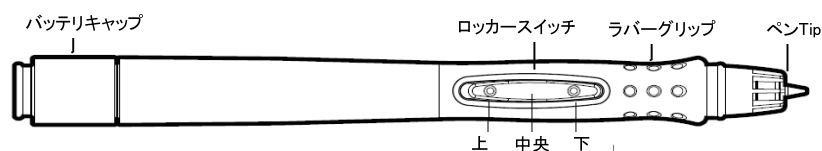
マウスペンは誰でも使え、家や学校やオフィスなどどの様な場面でもでも使用可能です。

マウスペンは、コンピューター上にリアルタイムでどんな用紙にも自由に文字や図形を書く事が出来ます。

マウスペンの主な構成部品は、ペン本体とレシーバーです。

マウスペン

下図はマウスペンの各部の説明図です。



マウスペンはペン先位置をレシーバーに伝送することにより、データをパソコンに取り込む事が出来ます。文字を書いたり、描いたりした情報はスクリーンにリアルタイムで表示され、手書き認識ソフトウェア（別途ダウンロードが必要）を使用してテキストに変換することが出来ます。

ペンに実装されているボールペンは標準の替え芯(4C-0.7)を使う事ができます。また、グリップ部は持ちやすく疲れない形状になっており、且つゴムにより滑りにくく操作し易くしてあります。

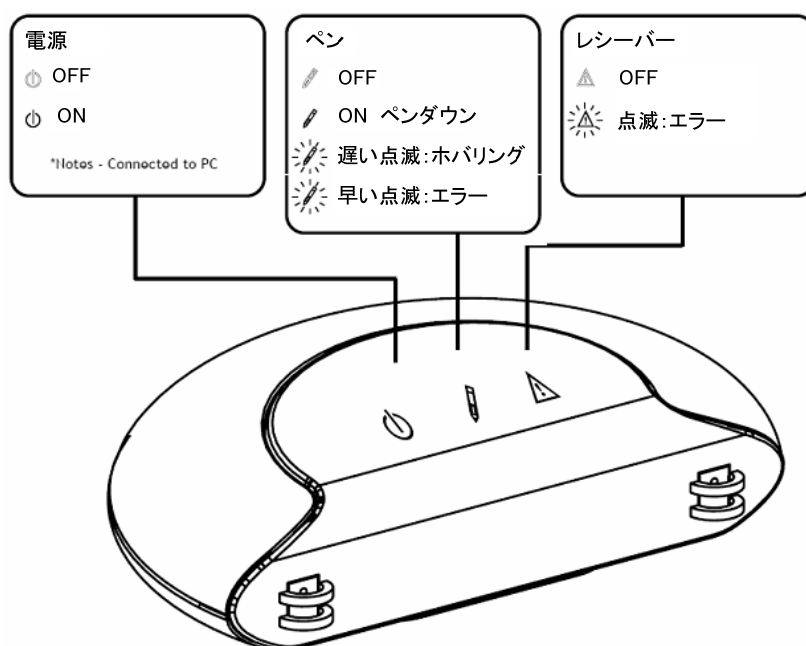
ロッカースイッチを操作する事により、簡単にペンモードとマウスモードを切り換える事ができるため、一回のボタン操作で、ペンモードでは文字や図形を手書きし、マウスモードでは通常のマウスと同じ様に PC を操作することが出来ます。

レシーバー

レシーバーはペンの動きを読み取り、スクリーンに移動した軌跡を表示します。レシーバーは A4 サイズの大きさをカバーし、用紙の 4 辺と 4 角に取り付けられます。また、レシーバーは標準の USB コネクタによって容易にまた簡単にご利用のパソコンにつながられます。

レシーバーの画像解像度は 300～900dpi.があります。

レシーバーにはデバイスの状況を伝える 3 つの LED があります。（下図参照）



マウスペンを使って作業する

マウスペンの機能は次の通りです：

- どんな用紙にも書いたり描いたりできます。
- リアルタイムでコンピューターにメモやスケッチを移せます。
- ペン&インク アプリケーションで編集できます。
- 完全なポイントデバイス機能で、マウスとして使用できます。
- 手書きのメモをとらえ、パソコンに表示する。
- 手書き文字をテキストデータに変換できます。（別途ダウンロード必要：x x xの項参照）

マウスペンアプリケーションを選ばずあらゆるアプリケーションでお使いいただけますが、下記に説明するアプリケーションが付属します。

- **ペン&インク エディター（製品に付属）**

（第4章のペン&インク エディターアプリケーションの使用を参照。）

- **スナップショット（製品に付属）**

第5章のスナップショットアプリケーションの使用を参照。）

- **ワード及びパワーポイントの様なマイクロソフト オフィス アプリケーション、**

（第6章のマウスペンと他のアプリケーションとの使用を参照。）

- **スペースインベーダーゲーム（製品に付属）**

（第6章のマウスペンと他のアプリケーションとの使用を参照。）

上記以外のアプリケーションについては、

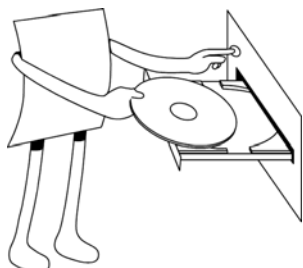
第 6 章の 97 ページのマウスペンと他のアプリケーションとの使用及を、

その他便利な使用方法については、

112 ページのカスタムホイールアプリケーションの設定を参照ください。

ご利用のマウスペンをスタートさせる為の指示を出しているクイックスタートについては、20 ページのスタートさせる、を参照ください。

第2章



マウスペン アプリケーションの インストール



この章について

この章では、製品の内容物とシステム要求及び、マウスペン アプリケーションをあなたの PC にインストールする方法について記載しています。これには次の項が含まれています：

- パッケージの内容物, : パッケージに含まれている構成部品について。
- システム要求、マウスペンのシステム要求性能について。
- ソフトウェアのインストール : マウスペンのアプリケーションのインストールの方法について説明。

パッケージの内容物

インストールのプロセスを始める前に、時間をとって次の構成部品の全てがパッケージの内容物に含まれているかを確認してください：

- マウスペン
- レシーバー
- ミニ USB-to-USB ケーブル
- インストレーションCD
- クイックスタートユーザーガイド

システム要求

マウスペンには次のシステム要求があります：

- **基本ソフト:** Windows 2000, Windows XP, Windows Vista
- **プロセッサ:** 1GHz プロセッサ以上
- **有効ハードディスク空間:** 200 MB
- **RAM:** 256 MB (推奨の 512 MB)
- **USB コネクタ:** USB 1.1/2.0 レシーバーへの接続用

ソフトウェアのインストール

マウスペンの使用を始める前に、最初にそのソフトウェア及びドライバーをインストールしてください。

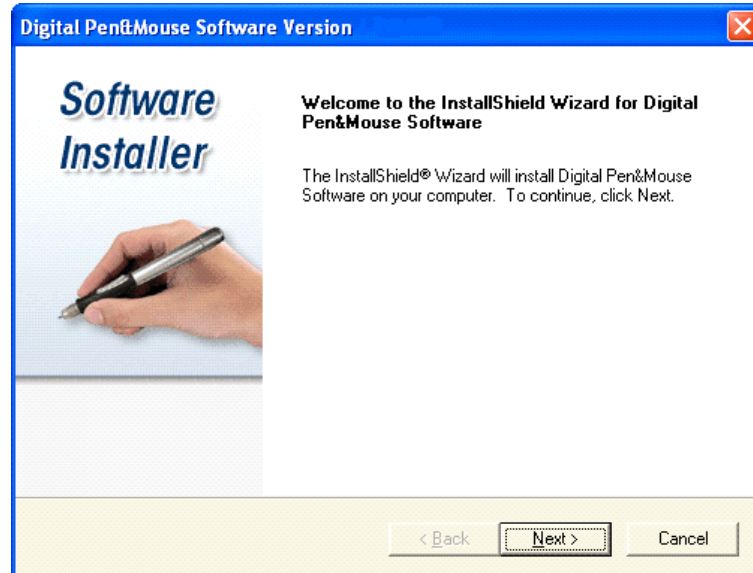
➤ マウスペンのソフトウェアをインストールする：

- 1 インストレーションCDをご利用のCD-ROMドライブに差し込んでください。マウスペン アンド マウス インストール シールド ウィザードウェルカムのウィンドウが自動的に開きます：

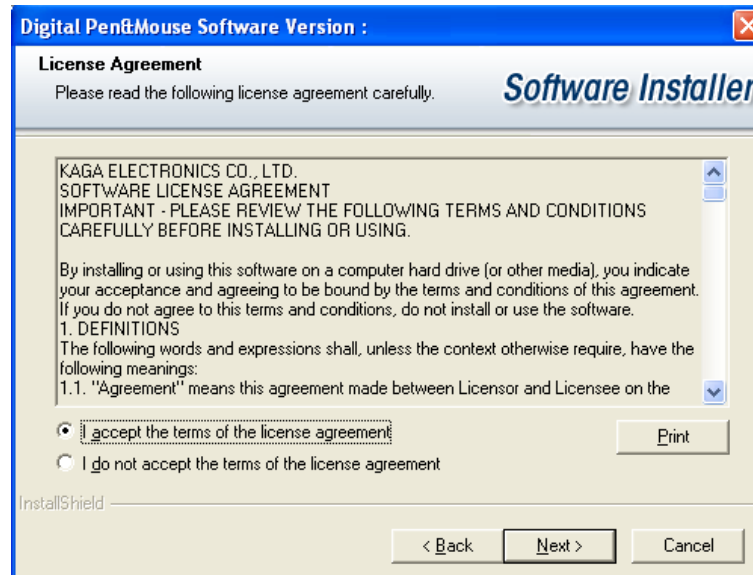


Digital Pen and Mouse User's Guide

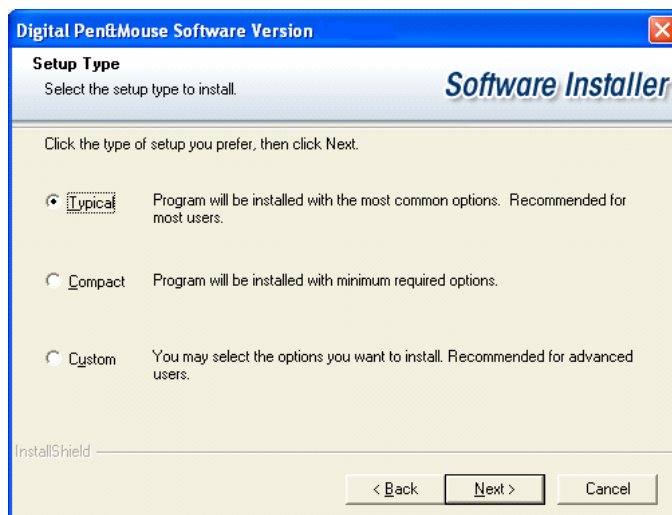
2. マウスペン&マウス オプションを選んでください。次のウィンドウが開きます：



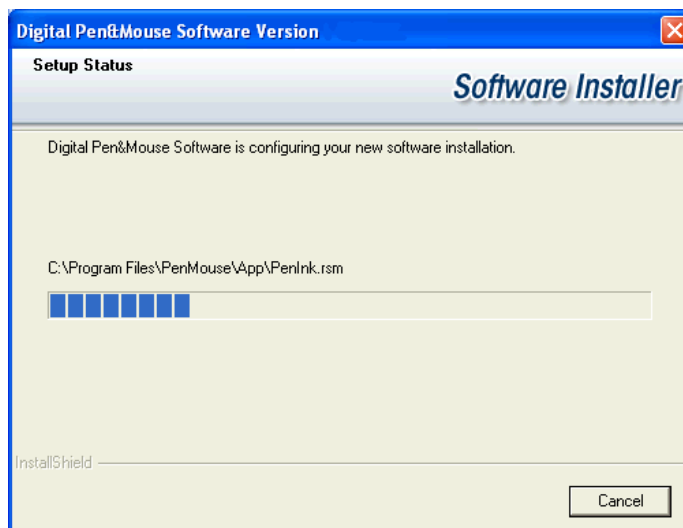
3. NEXT(次へ)をクリックしてください。ライセンスアグリーメント (ライセンスの同意) のウィンドウが開きます。



4. ライセンスアグリーメントを読み、**I accept the terms of the license agreement**（私はライセンスアグリーメントの条件を受け入れます。）のラジオボタンを選んでください。
5. **NEXT（次へ）** をクリックしてください。Setup Type（セットアップタイプ）のウィンドウが開きます：



6. **Typical（最も一般的な）** のラジオボタンを選んで、**Next(次へ)** をクリックしてください。これがお勧めのオプションです。Setup Status（セットアップ ステータス）のウィンドウが開きます。

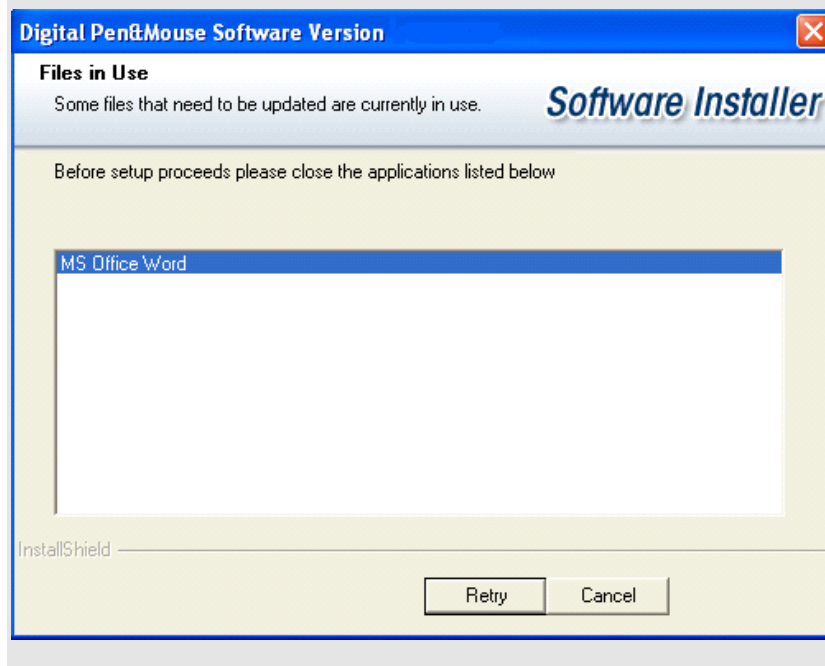


セットアップのプロセスは自動的に始まります。再生バーがインストールレーションのプロセスの状況を表示します。

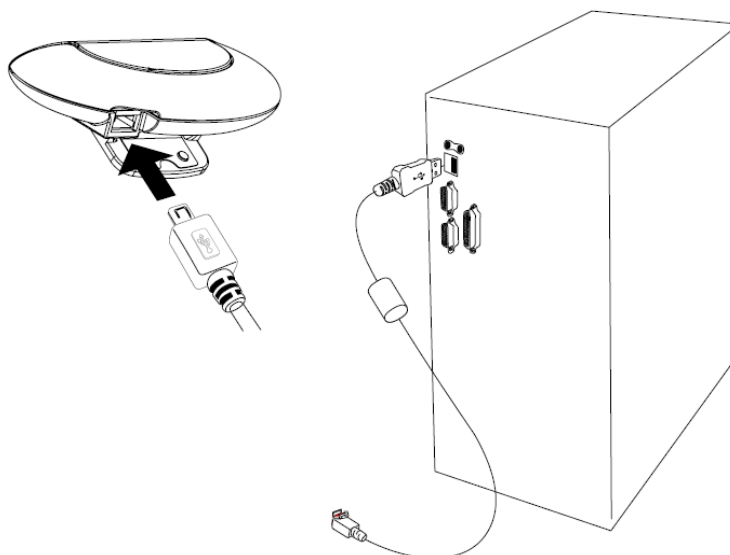
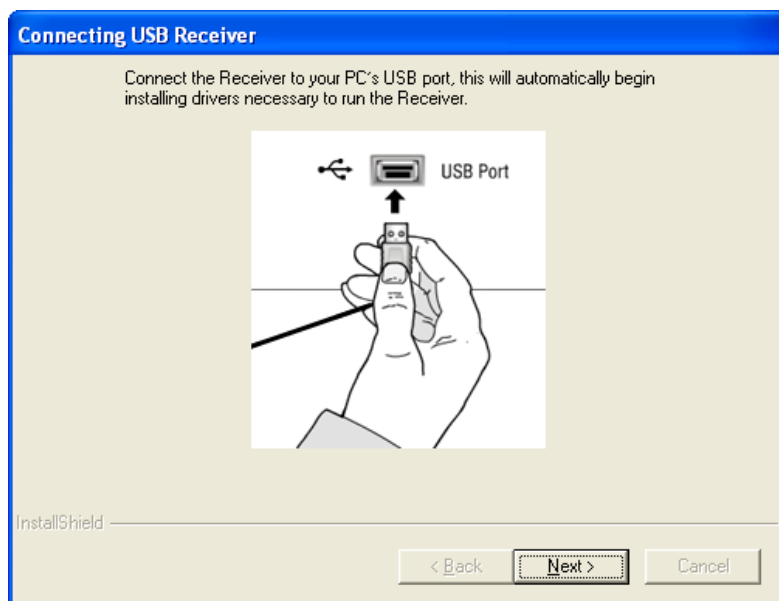


注:

起動中のアプリケーションがある場合下图の様なメッセージウィンドウが表示されますので、起動中のアプリケーションを終了して、**Retry(再試行)** をクリックしてください。



7. 下図のウィンドウが表示されたら、ご利用のパソコンの USB ポートに付属の USB コネクタの大きい方を差し込んでください。それから、USB コネクタの小さい方をレシーバーの USB ポートに差し込んでください。



8. **Next(次へ)** をクリックしてレシーバを USB で接続すると、インストールが終了しますので、**Finish(終了)** をクリックしてください。

9. インストーラは、Microsoft Tablet Recognizer のインストールリンク先を知らせます。(Windows XP Pro, Windows 2000 ユーザー)

このオプションをインストールすると、手書き文字をテキストデータに変換できるようになります。

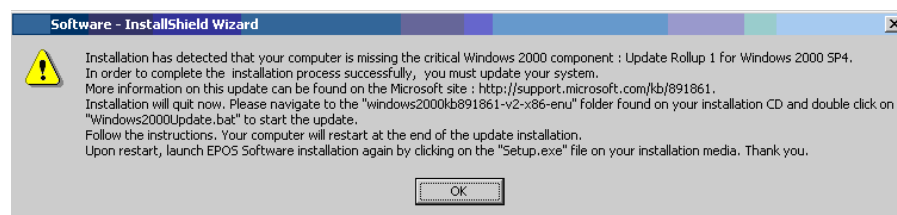
ソフトウェアのインストレーションはこれで完了です。マウスのアイコンがデスクトップの右下のタスクバーに現れます .

マウスペンが正常にインストールされ使用準備完了です。



注：

ウィンドウズ 2 0 0 0 プロフェッショナルにこのソフトウェアをインストールする為には、そのパソコンにはサービスパック 4 とウィンドウズ 2 0 0 0 SP 4 用の最新のロールアップ 1 を含む最新のものがインストールされていなければなりません。もしこれらの最新のものがご利用のパソコンにインストールされていない場合、インストレーションのプロセス中に通知があります。

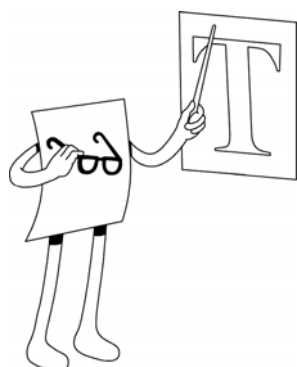


もし上記のメッセージを受けた場合、下記を注意深く読み、メッセージの中の指示に従ってください。詳しくは、下記マイクロソフトサポートウェブサイトを参照してください。

<http://support.microsoft.com/kb/891861>.

もしご利用のコンピューターにまだ MSI インストーラーがインストールされてなかった場合、このコンポーネントはインストレーションのプロセス中、自動的にインストールされます。この場合、ご利用のコンピューターの再起の指示を促すメッセージが表示されます。

第 3 章



マウスペンの使用



この章について

この章はマウスペンのスタート方法と使い方、そして、メンテナンス方法について記載しています。それには次の項が含まれています：

- **スタートする、マウスペンのスタートや使用の最も一般的な例の案内します。**
- **ホイール,様々なアプリケーションを簡単に起動できるオプション機能、ホイールについて説明します。**
- **サポートされたビスタの機能性、29ページ、ウィンドウズ ビスタ システム上でマウスペンを使用する利点やビスタの環境の下でサポートされている追加のマウスペンの機能性等の利点について説明します。**
- **マウスペンのメンテナンス、電池やペン先（替え芯）の交換方法等、ご利用のマウスペンをメンテナンスする為の基本的な手順について説明しています。**

スタートする

マウスペンの使用する際の容易さや柔軟性を図解する為に、この項ではそれをマウスやペンとして両方を使ってスタートさせる方法についての最も一般的な例を紹介します。

- ステップ 1 各部の名称を理解する。
- ステップ 2 ソフトウェアをインストールする。
- ステップ 3 レシーバーを用紙にクリップで留める。
- ステップ 4 ペン又はマウスとして使用する。

ステップ 1 : 各部の名称を理解する

マウスペンをご使用になる前に、ペンの構成と部品の名称を理解してください。（ペンについて説明している 2 ページの マウスペンを参照してください。）

もし電池をまだ装てんしてない場合は、38 ページの 'マウスペン電池の挿入' に記載されている様に、ペンに電池を装てんしてください。

ステップ 2 : ソフトウェアをインストールする

マウスペンを使用する前に、7 ページの、第 2 章のマウスペン アプリケーションのインストールに記載されている様に、そのソフトウェアをインストールしなければなりません。

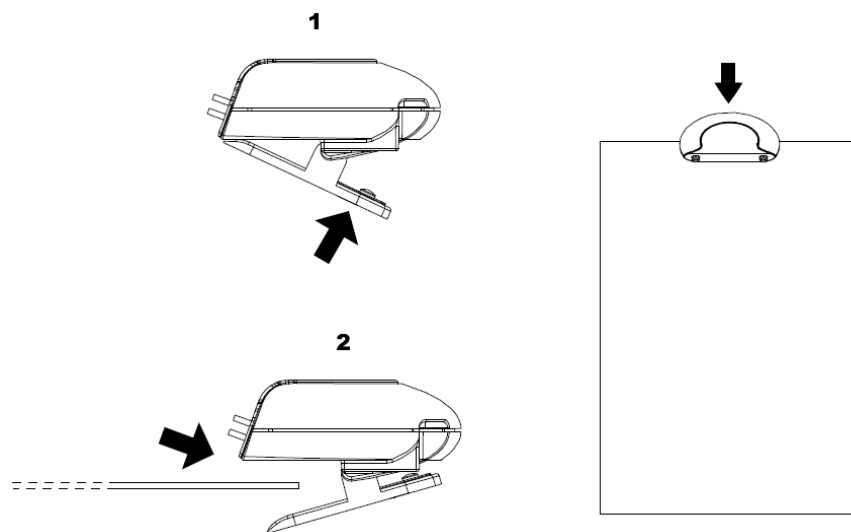
ステップ 3 : レシーバーを用紙にクリップする

レシーバーの初期設定の位置は、A4 サイズの縦長又は横長の用紙の上端の中央ですが、その他用紙の 4 辺、4 角のどの位置にも取り付けができます。また、ポートレート（縦長）又はランドスケープ（横長）でも使用可能です。



注：

もしレシーバーのクリップ位置を変えたい場合は、デバイス プロパティを起動し、変更してください。この方法について詳しいことは、108 ページのレシーバー設定を参照してください。



ドライバソフトウェアのインストールされており、ご利用のコンピューターの USB ポートにレシーバが接続されている事を確認してください。より詳しくは 13 ページのステップ 7 を参照してください。

レシーバーのパワー LED は USB ケーブルが PC と正しくに接続されている時に点灯します。

ステップ 4 : ペン又はマウスとして使用する

ペンモード及びマウスモードとは何ですか？

マウスペンはペン又はマウスとして、どちらでも使用することができます。ペンについている、ボタン（ロッカースイッチ）の中央をクリックすることでモードを切り替えられます。

マウスペンは次のモードで作動することが出来ます：

- **マウスモード：** マウスモードではペンはマウスの様に機能します。ペンを前後左右に動かし、マウスカーソルの矢印のアイコンをコントロールできることを確認してください。従来のマウスはマウスパッドの様に、平らな面を滑らせて使用しますが、マウスペンは平らな面だけでなく、レシーバーの範囲内であれば空中に文字を書いたりスケッチしたりしても、パソコン上に正しくその動きをコピーします。
必要に応じてマウスモードの動作の設定を変更出来ます。例えば、マウスの速度を変更出来ます。詳しくは、105 ページのマウスの移動速度設定を参照してください。
- **ペンモード：** このモードでは、マウスペンの付属アプリケーションを使いペンとして使用する事ができます。ペンモードでは、レシーバーを取付けた用紙に文字を書くと、同じ文字がスクリーン上に現れます。付属されたアプリケーションのリストは 23 ページに示されております。

ロッカースイッチの中央のボタンを押す事によって、ペン及びマウスモードを切り替える事が出来ます。下図の様なペン又はマウスモードを表す画像が一瞬表示され、現在のどちらのモードかを表示します。



このアイコンが表示された場合、マウスペンがペンとして機能している事を示しています。



このアイコンが表示された場合、マウスペンがマウスとして機能している事を示しています。

タスクバーは又、下記の様に、その関連するアイコンを示しています。

表示場所	マウス	ペン
スクリーン上		
タスクバーの中		

前のステップで記載されている様に、マウスペンを用紙にクリップした後、マウスとしての機能が始まります。



助言：

ペンの中央のロッカーボタンをクリックする事によりいつでもペン及びマウスモードの間で切り替える事が出来ます。

マウスペンをマウスとして使用

標準なマウスとして使用出来ます。

- **ダブルクリック**：ペン先を用紙上にダブルクリックすると、マウスの左ボタンをダブルクリックことと同じ動作ができます。
- **左クリック**：ペン先を用紙上にクリックすると、ペンのロッカースイッチの下のボタンを押すと、マウスの左クリックすることと同じ動作ができます。
- **右クリック**：ロッカースイッチの上のボタンを押す事により、マウスの右ボタンをクリックすることと同じ動作ができます。

- **ブルクリック**：デスクトップ上のアプリケーションにカーソルを移動させペン先を用紙上にダブルクリックすると、マウスの左ボタンのダブルクリックすることと同じ動作ができます。標準的なマウスとする様に、ペンを使用してアプリケーションを通して情報を検索してください。
- **ロッカースイッチの中央のボタン**を押しホイールを開いてください。下図のホイールが表示され、ホイール内に表示されているアプリケーションの一つを選び起動させることができます。



ホイールについての詳しい情報については27ページを参照してください。

マウスペンをペンとして使用

マウスペンは即座にご利用のパソコンを仮想のノートに変えることができます。手書きのメモやスケッチをリアルタイムにPCに取り込み、様々なアプリケーションに手書きにより入力された文字や図形をデジタル処理することによりデータをファイル化し、ファイルの共有や、手書きのメモや署名のドキュメントをパーソナライズ化できます。

マウスペンをペンとして使用する為には、ペンのロッカースイッチの中央のボタンをクリックして、ペンモードに変えてください。下記のものはご利用のマウスペンをペンとして使用する2つの例です：



助言：

マイクロソフトのワードの様な、マウスペンのサポートされたアプリケーションをご使用の場合、ペンモードで手書き文字や図形を書込む事が出来ます。

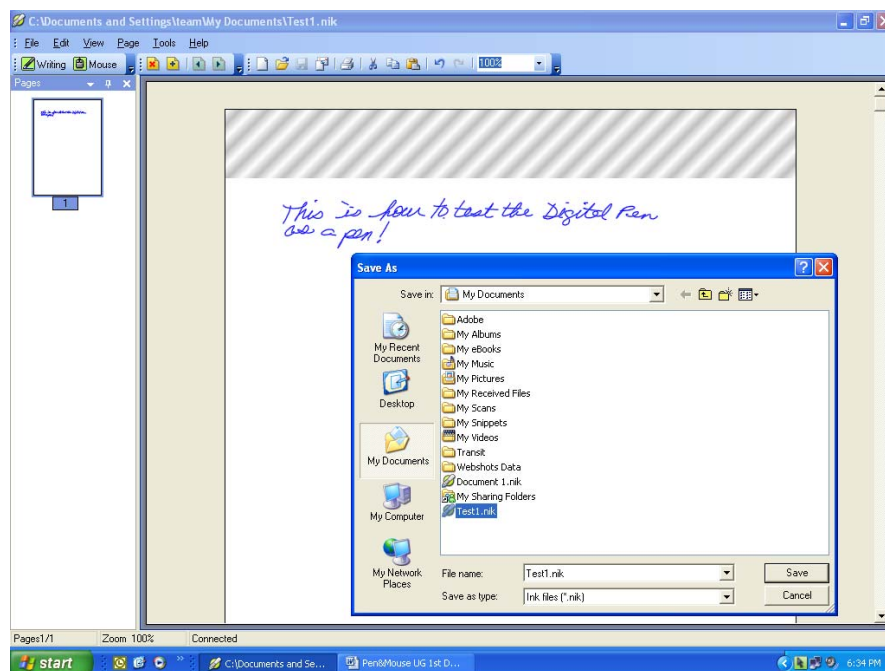
例 1.

ホイールを使用して、ペン&インク アプリケーションを起動してください。

メインウィンドウの作業エリア内に自由に文字や図形を書いてみて、用紙とスクリーン上で同じものが描かれていることを確認してください。

例えば直線を引く場合、同じ角度でペンを保ちあなたの手を水平に動かしてください。

ロッカースイッチの中央のボタンを押し、マウスモードに切り換えてください。ウィンドウズのツールバーの **Save**（保存する）アイコンをクリックして書いたものを保存してください。この方法で保存されたファイルには*.nik 拡張子が付きます。

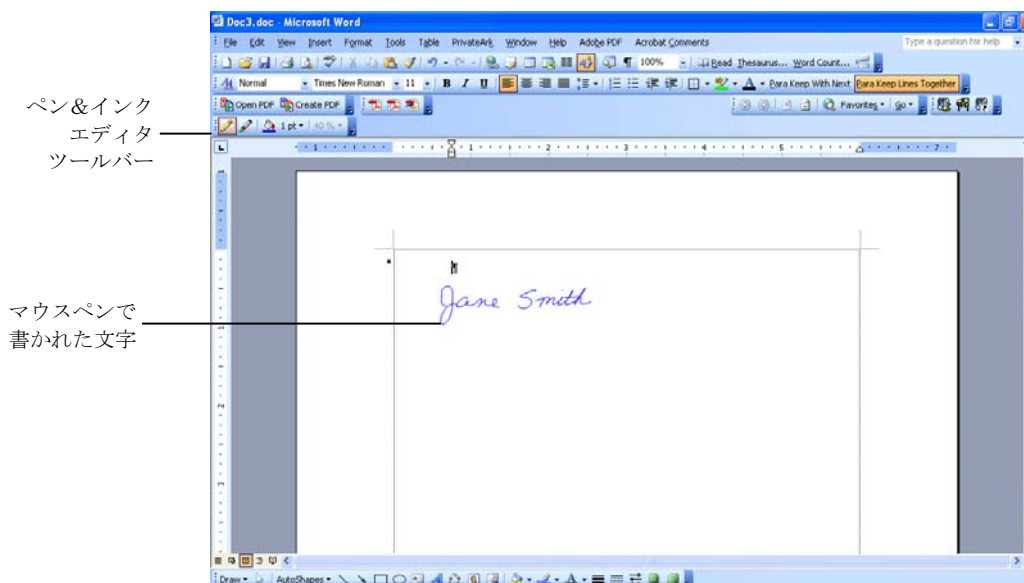


例 2

マウスモードの場合、ペンの中央のボタンを押してホイールを開いて、幾つかのアプリケーションからどれか一つを選んでください。ホイールから、スナップショットやマイクロソフト オフィスのアプリケーション（ワード及びパワーポイント）の様なマウスペンに対応したアプリケーションを開く事が出来ます。

ワードのアイコン  をクリックして、アプリケーションを開いてください。ペン&インク エディターのツールバーも又ワードファイルに表示される事に注目してください。

ワードが開いた後、ご自分の名前など、ドキュメントに何かを書込んでみてください。



お好みの方法を使って、ご利用のドキュメントを保存してください。そのファイルは *.doc のフォーマットに保存されます。



助言：

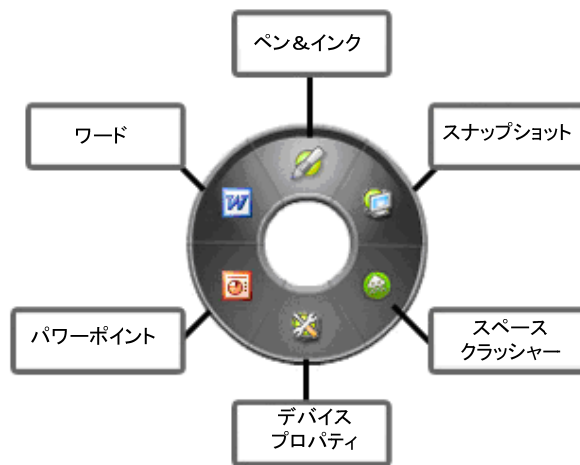
標準のマイクロソフトの使用方法でドキュメントを保存するか、マウスペンのロックスイッチの中央を押してマウスモードに切り替えて、マウスモードでワードのツールバーの **Save**（セーブ）アイコンをクリックする事によりドキュメントを保存出来ます。

保存の操作はファイルのオリジナルのコンテンツに加えて、マウスペンを使って追加したどんな文章/図面も保存します。

ホイール

マウスペン ホイールは色々なアプリケーションを簡単に起動することが出来る便利なツールです。 起動するアプリケーションはユーザーが任意に2つ設定出来ます。

ホイールにアクセスするには、ロッカースイッチの中央のボタンを押すと、ホイールがデスクトップ上に現れます。



ホイールから直接次のものを起動させる事が出来ます：

-  **ペン&インクエディター**（第4章のペン&インク エディター アプリケーションを参照。）
-  **スナップショット**（第5章のスナップショット アプリケーションを参照。）
-  **マイクロソフト ワード**（98ページのマイクロソフト オフィス アプリケーションを参照。）
-  **パワーポイント**（98ページのマイクロソフト オフィス アプリケーションを参照。）
-  **スペースクラッシャーズ**（104ページのスペースクラッシャーズ ゲームを参照。）
-  **デバイス プロパティ**（105ページの第7章のデバイス プロパティ設定を参照。）



注:

マウスペンホイール上にアプリケーションを追加、除去のより詳しい説明は、1
1 2 ページのカスタム ホイール アプリケーション設定を参照ください。

➤ ホイールからアプリケーションを起動させる :

- ペンのロッカースイッチの中央のボタンを押しマウスペン ホイールを表示させ、マウスのカーソルを動かし、それぞれのアプリケーションでホイール上のアイコン上を、を開いてください。

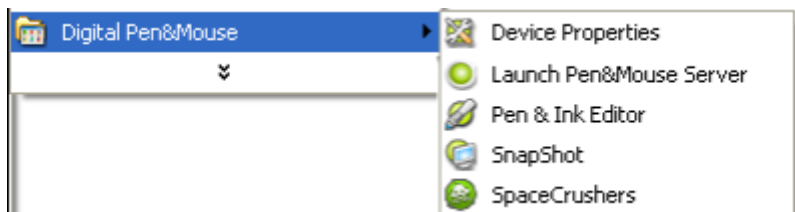
ホイールからアクセス可能なアプリケーションは又、次の様な他の方法でもアクセス出来ます :

デスクトップ
から :

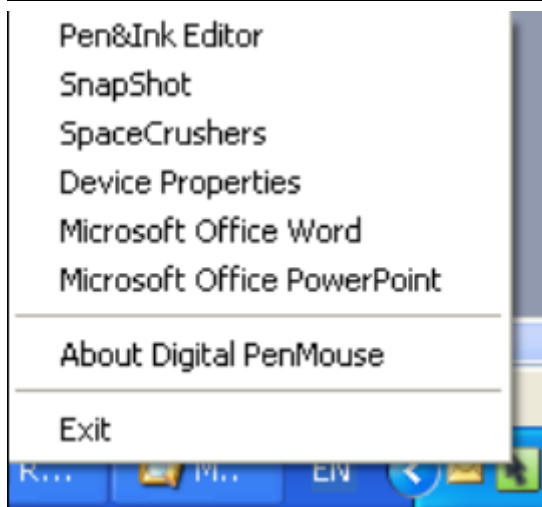


Pen&Ink

スタートメニュー
から :



タスクバーから :

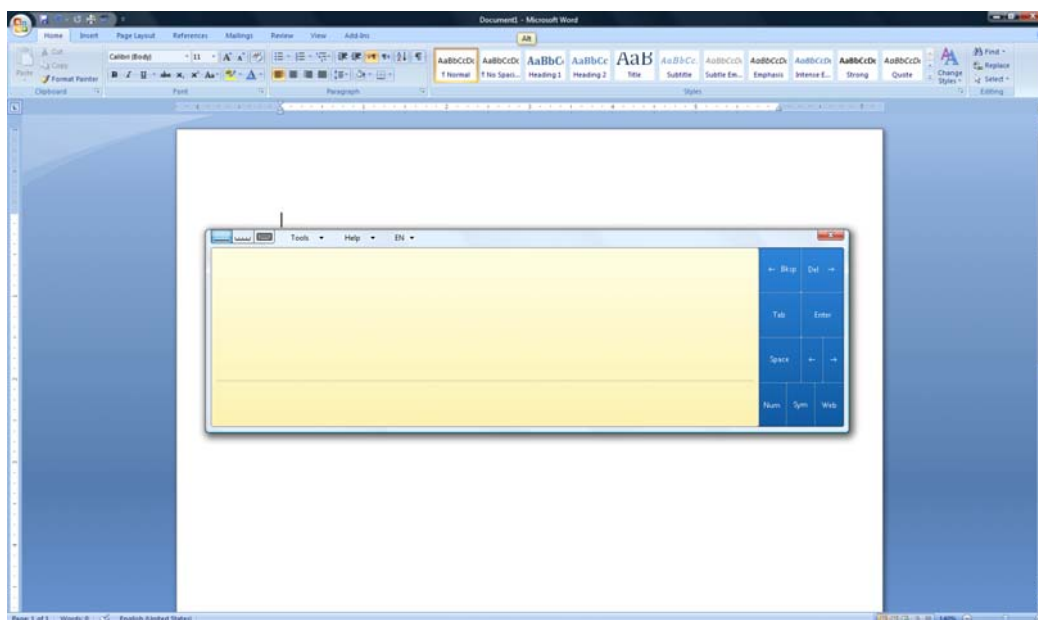


サポートされたビスタの機能

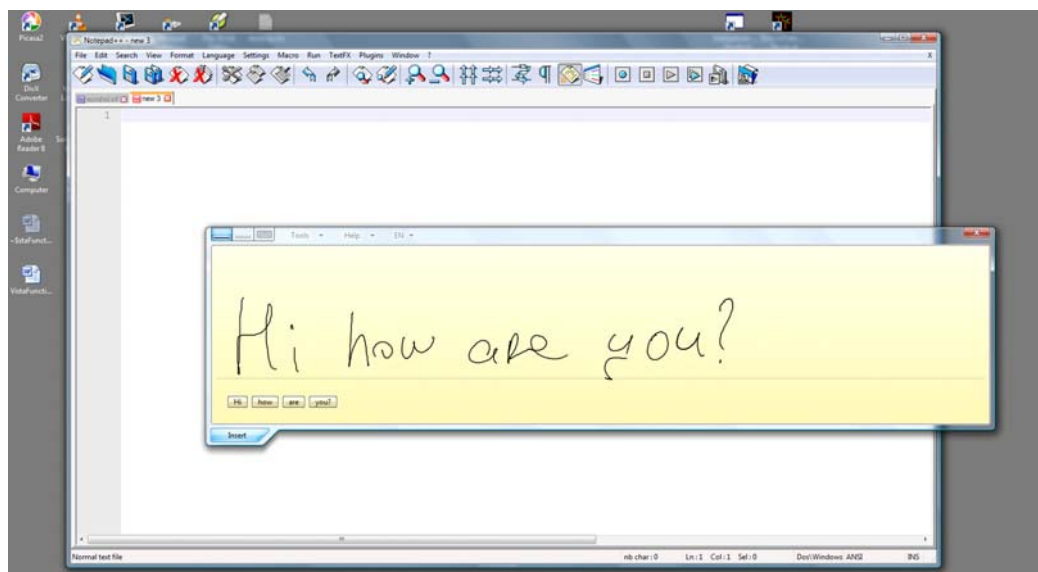
マウスペンは全てのウィンドウズビスタ版で使用可能です。ウィンドウズビスタがインストールされた PC では、マウスペンはタブレットパソコンのデジタイザー、マウス、ペンとして機能させることが可能になります。

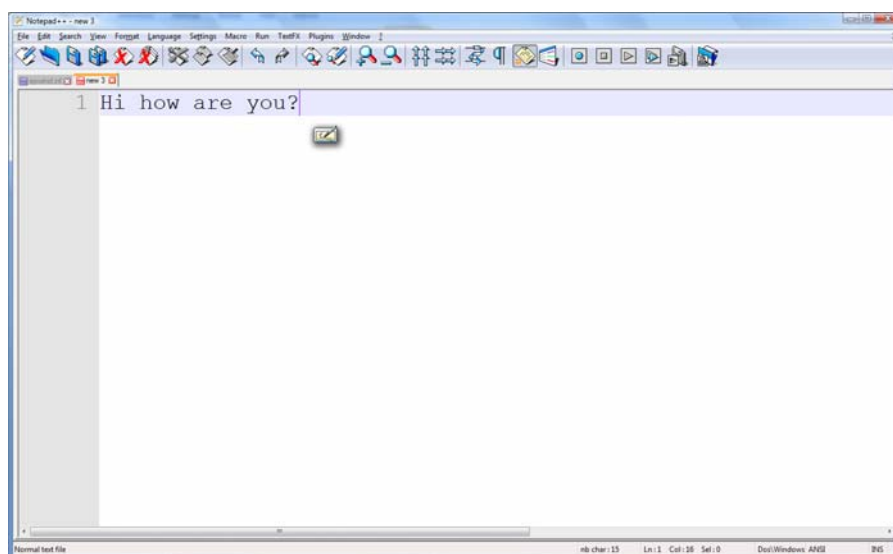
マウスペンをインストールする事によりご利用のコンピューターがタブレットパソコンになります。（マウスペン ドライバソフトをウィンドウズビスタのシステムにインストール後利用出来ます）

マウスペンは下記に示されたタブレットパソコンの入力パネルを、ビスタにログインしてから利用できる様になります。



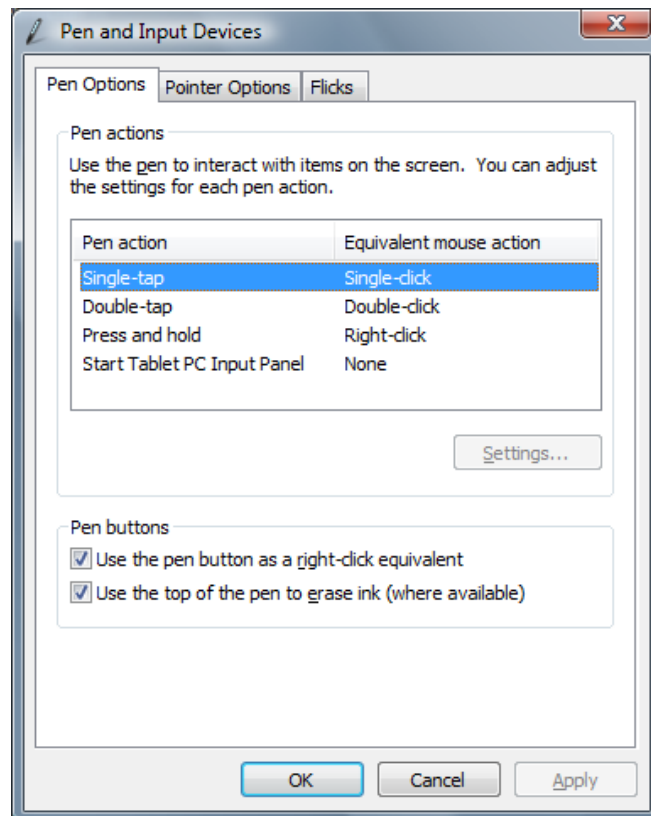
タブレットパソコンの入力パネルは標準のキーボードを使用しないで、手書きでテキストを入力することができます。マウスペンで入力パネルに入力した手書き文字はコンピューター上で認識します。例えば、下の最初の図はマウスペンを使って入力した手書きのテキストを示します。2番目の図は手書きの認識が行われた後の同じテキストを示し、**Insert**（挿入する）をクリックすると、変換されたテキストがご自分の選択のアプリケーションに挿入されます（この場合、メモ用紙）。





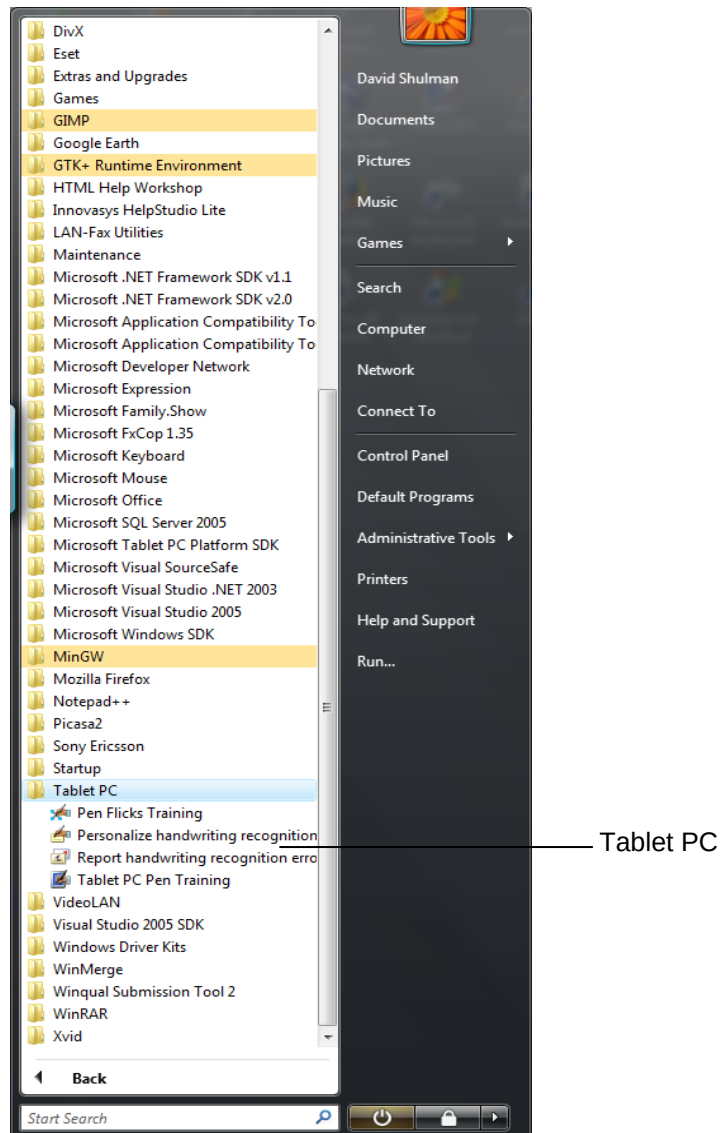
タブレットパソコンの入力パネルとビスタの基本ソフトとの動作についての詳しい情報は、ビスタのヘルプ参照ください。

ビスタシステムトレイには **Pen Flick** (ペンフリック)  アイコンが含まれています。このアイコンはペンの動きと入力デバイスのコントロールを可能にします。このアイコンをクリックしてペンとインプットデバイスウィンドウを開いてください。



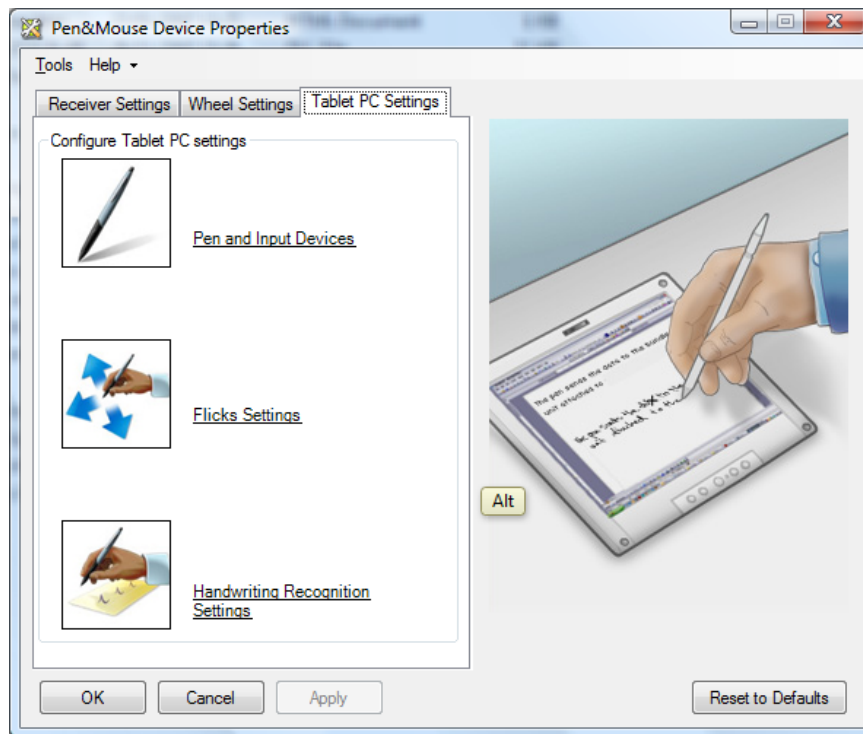
このウィンドウでの設定詳細についてはビスタヘルプを参照してください。

一旦あなたがデジタル・ペンおよびマウスをインストールすれば、コンピュータのプログラム・リストはタブレット型パソコンと呼ばれるエントリーを含んでいます。タブレット型パソコンのエントリー入力の手書きの認識及びビスタ上でのペンの使用に関する情報を提供します。



ビスタのマウスデバイスプロパティ

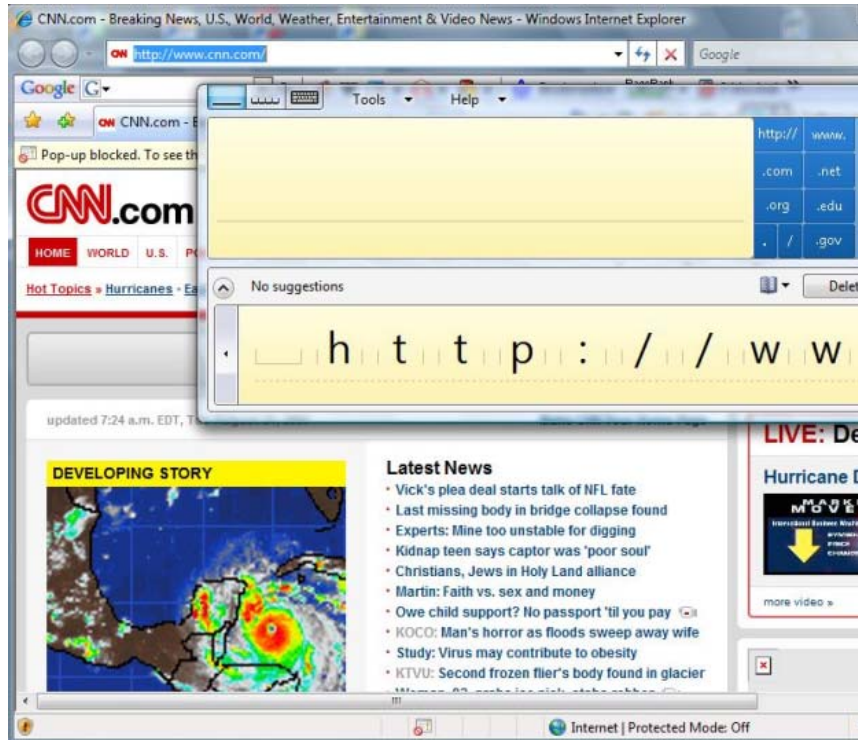
ビスタにおける マウスペンデバイス プロパティウィンドウは他のウィンドウズの基本ソフトのものとは多少異なります：



ビスタにおいては、このウィンドウは追加のタブ – タブレットパソコン設定を含んでいます。このタブはマウスペンに関する全ての機能に素早くアクセスする一連のリンクを含んでいます。必要なセッティングを定義する適切なウィンドウを開けるためにリンクをクリックしてください。

マウスペンをビスタを使っての書込む

ビスタでマウスペンを使用する際、どんなプログラムのテキストボックスでもカーソルを置くと、アイコンが表示されます。下記の様に、このアイコンを軽くたたいて、ウィンドウを開いてください。ペンを使って書く事が出来ます。



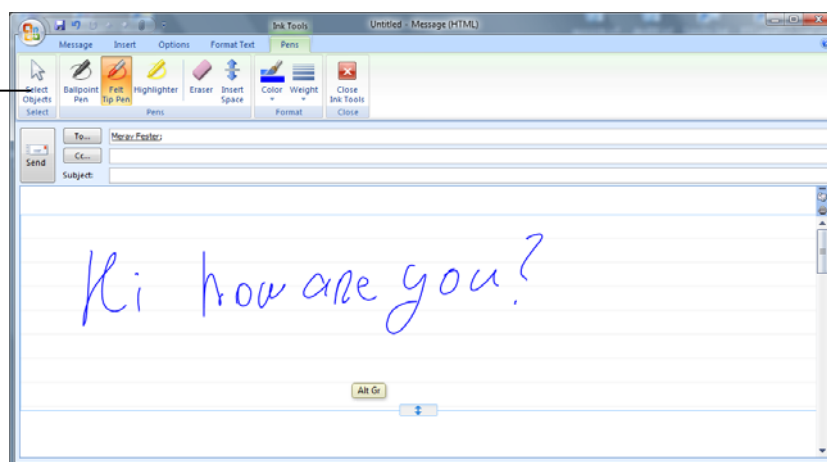
この欄はその状況に応じて、使用しているアプリケーションを自動的に決めます。この場合は、インターネットエクスプローラー アドレスバーです。

ウィンドウズビスタをオフィス2007を使って作業する

マイクロソフト オフィス2007とマウスペンの両方がインストールされている時は、上記に記載されたもの以外に、幾つかの追加の機能があります。



例えば、**Start Inking (インクのスタート)** ボタンが全てのマイクロソフト オフィスのアプリケーションインに備えられています。このボタンをクリックすると、別のツールバーが表示され、蛍光ペンやインク消しの様な、手書きの情報を処理するツールに素早くアクセスします。これらのオプションについて、更に詳しい事はビスタヘルプを参照ください。



マウスペンはどのマイクロソフトオフィスアプリケーションでも使用可能です。



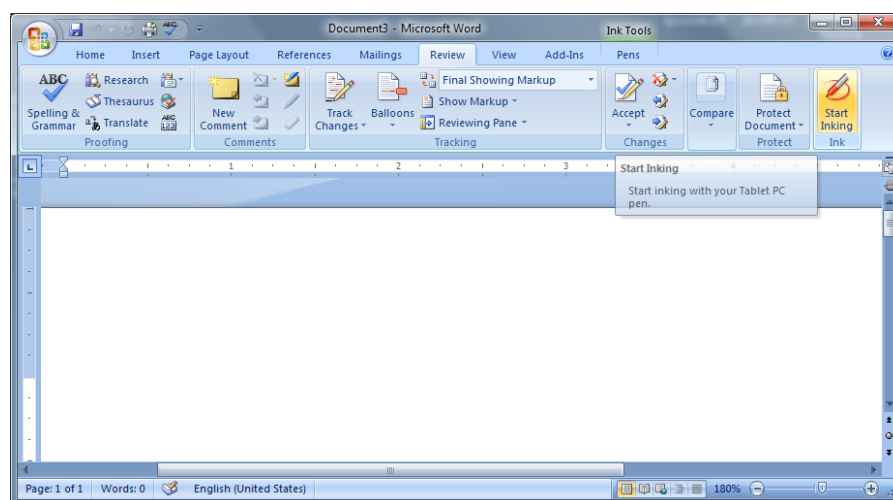
注：

マウスペンのプラグインはマイクロソフト ワードやパワーポイントを初期状態で使用を可能にします。これらのプラグインはマウスペンがペンモードで作動している時は、ビスタ対応の **Start Inking (インクのスタート)** 機能と同時に使用できません。ビスタの **Start Inking (インクのスタート)** 機能はマウスペンがマウスモードで作動する時のみ使用できます。

Start Inking（インクのスタート）機能にアクセスするには、メニューバーの **Review**（レビュー）をクリックすると、ウィンドウの右側の



ツールを表示します。



注:

Start Inking（インクのスタート）ボタンは各マイクロソフトオフィスのアプリケーションの異なった位置に現れます。マイクロソフト ワードで作業している時は、**Review**（レビュー）メニューからアクセス出来ます。

マウスペンのメンテナンス

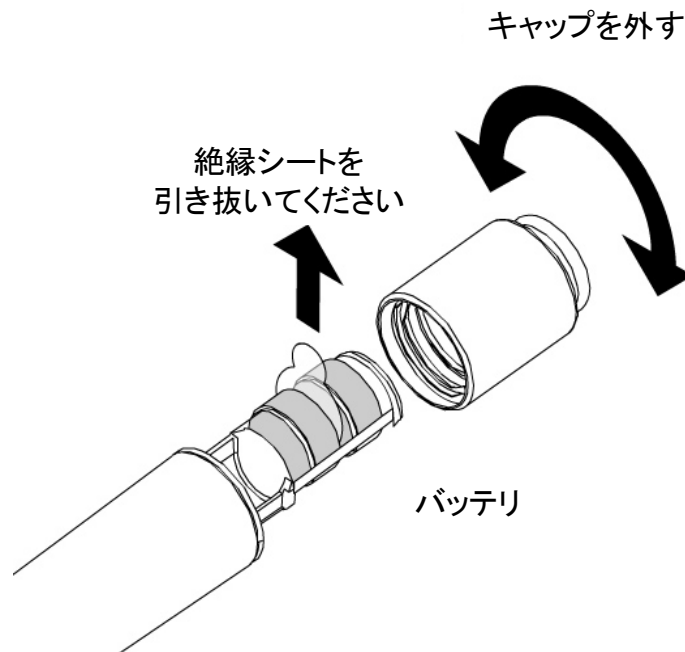
マウスペンを使用していると、電池やペンインクは消耗品のため、交換作業が必要になる場合があります。次のサブセッションでは、消耗品の交換方法について記載しています：

マウスペンの電池の挿入

マウスペンには2個のレギュラー393時計電池一式が付属されています。電池はお客様がご購入された時点で装填されていますが、ご使用に当たっては必ず絶縁シートをはずしてください。（絶縁シートのはずし方については別紙注意書（黄色い紙）を参照ください。）

➤ マウスペンの電池を挿入する：

- 1 ペンのトップのフタを回して外す。
- 2 電池を挿入する。
- 3 ペンのトップをねじ戻す。



注：

このガイドで記載されていない方法でマウスペンを分解しないでください。不適切な使用はペンに損傷を与え、機能が止まる原因となります。
マウスペンは30秒間後自動的にパワーセーブモードになります。

ペン先の挿入

マウспенにはボールペンが装填されています。



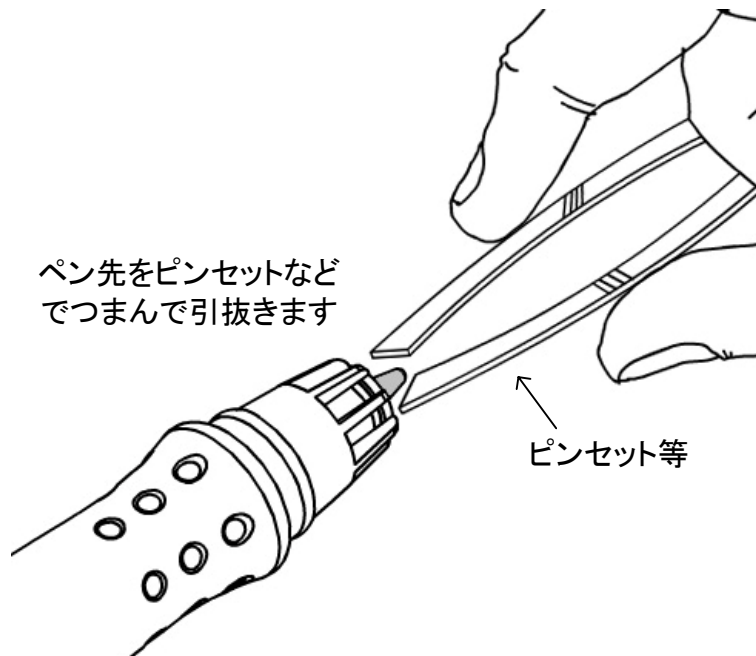
注:

もしインクが切れた場合、ペン先を標準の書き込みのペン先と交換出来ます。もう一つの方法として、スタイラスペンと取り換え、ペンをマウスとしてのみ使用出来ます。

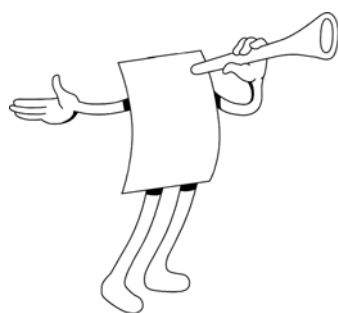
交換用ペン先は付属していませんので、事務用品店等で、お買い求めください。

➤ **ペン先交換方法：**

- 1 ペン先をマウспенから引っ張ってください。
- 2 取り換えるペン先をマウспенに挿入してください



第4章



ペン&インク

エディター

アプリケーションの 使用



この章について

この章ではマウспенに付属するペン&インク エディターアプリケーションの使い方について記載しています。ペン&インク ソフトウェアはマウспенのインストレーションのプロセスの一部として自動的にインストールされています。この章は次の項を含んでいます。

- **ペン&インク メインウィンドウ**, 43 ページ、アプリケーションの主なウィンドウとその構成部品について説明。
- **編集**, 55 ページ、線を動かしたり、線を削除したり、絵を追加したり、色を変更したり等、アプリケーションで様々な編集機能を行う方法について説明。
- **検索**, 78 ページ、ペン&インク エディターのアプリケーション内で操作する為に用意された検索方法について説明。
- **保存**, 80 ページ、ペン&インク エディターの情報を保存する為に用意されたオプションについて説明。

●印刷, 82 ページ、現行のドキュメントを印刷する方法について説明。

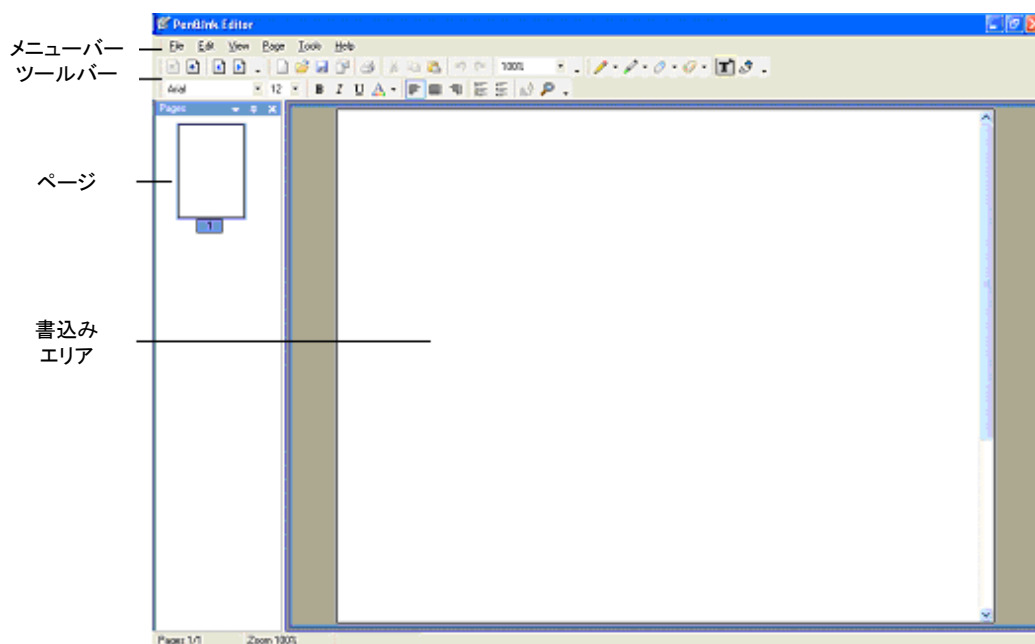
● Eメールでドキュメントを送る、83 ページ、EメールのメッセージをPDFファイルとして添付してドキュメントをEメールする方法について説明。

●ドキュメントをエクスポートする、84 ページ、PDFフォーマットに転送する方法について説明。

ペン&インク メイン ウィンドウ

ペン&インク エディターは下記のウィンドウから構成されています。

- メニューバー（44ページを参照。）
- ツールバー（47ページを参照。）
- ページウィンドウ枠（51ページを参照。）
- 書き込み範囲（52ページを参照。）



メニューバー

メインメニューからペン&インク エディター 機能を使う。



助言：

ほとんどのアプリケーションのオプションはメニューバーとツールバー両方からアクセス出来ます。利用出来る機能のオプションについて、詳しくはこの章の関連したツールバーの項を参照ください。

次のメニューのオプションが利用出来ます：

File (ファイル)

File	Edit	View	Page
New	Ctrl+N		
Open...	Ctrl+O		
Save	Ctrl+S		
Save As...			
Export			
Email As PDF			
Print...	Ctrl+P		
Recent Files			
Exit			

File (ファイル) には次のオプションがあります：

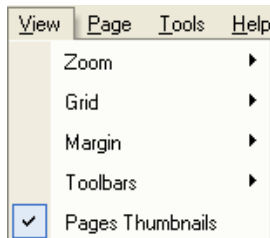
- ・ **New (新しい)** : 新しいドキュメントを開く
- ・ **Open (開く)** : 既存のドキュメントを開く
- ・ **Save (保存する)** : 現行のドキュメントを保存する
- ・ **Save As (として保存する)** : 新しい名前が付いた現行のドキュメントを保存する
- ・ **Export (エクスポートする)** : 現行のドキュメントをエクスポートする
- ・ **Email As PDF P (PDFとしてEメールする)** : 現行のドキュメントをPDFとしてEメールで送る
- ・ **Print (印刷)** : 現行のドキュメントを印刷する
- ・ **Recent Files (最近のファイル)** : アプリケーションに開かれた5つのつい最近のファイルのリストを示す
- ・ **Exit (出口/終了)** : アプリケーションを閉じる

Edit (編集)

Edit	View	Page	Tool
Undo		Ctrl+Z	
Redo		Ctrl+Y	
Cut		Ctrl+X	
Copy		Ctrl+C	
Paste		Ctrl+V	
Delete			
Find...		Ctrl+F	
Find Next		F3	
Rotate Ink			
Convert To Text			
Insert Picture			
Insert Hyperlink			

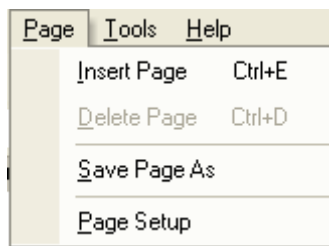
編集メニューには次のオプションがあります：

- ・ **Undo (取り消し)**：最後に行われたアクションを取り消す/取り除く
- ・ **Redo (やり直す)**：Undo のキャンセル。
- ・ **Cut (切り取る)**：ドキュメントの選ばれた範囲を切り取る
- ・ **Copy (コピー)**：ドキュメントの選ばれた範囲をコピーする
- ・ **Paste (貼り付ける)**：ドキュメントの選ばれた範囲を貼り付ける
- ・ **Delete (削除する)**：ドキュメントの選ばれた範囲を取り除く。
- ・ **Find (検索する)**：ドキュメント内のテキストを検索する
- ・ **Find Next (次を検索する)**：Find ウィンドウに指定されたテキスト文字列の次に起こるものを検索する
- ・ **Rotate Ink (インクを回転させる)**：ドキュメントのテキストや図面を回転させる
- ・ **Convert To Text (テキストに変更させる)**：選ばれた手書きの文字をテキストに変える)
- ・ **Insert Picture: (写真を挿入する)**：画像ファイルをドキュメントに挿入する
- ・ **Insert Hyperlink (ハイパーリンクを挿入する)**：ハイパーリンクをドキュメントに追加する

View (ビュー)

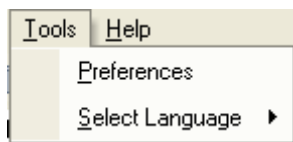
ビューメニューには次のオプションがあります：

- ・ **Zoom (ズーム)**：指定された比率に表示サイズを変更する
- ・ **Grid (格子)**：ドキュメントにグリッド線を追加する
- ・ **Margin (余白)**：ドキュメントに余白ガイドを追加する
- ・ **Toolbars (ツールバー)**：アプリケーションの4つのツールバーを表示し/隠す事が出来る
- ・ **Pages Thumbnails (ページサムネイル)**：ページウィンドウの枠を表示し/隠す為に切り替える

Page (ページ)

ページメニューには次のオプションがあります：

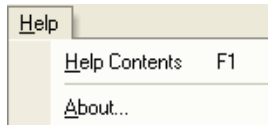
- ・ **Insert Page (ページを挿入する)**：新しいページをドキュメントに挿入する
- ・ **Delete Page (ページを削除する)**：ドキュメントの現行のページを削除する
- ・ **Save Page As (としてページを保存する)**：JPEGイメージとして現行ページを保存する
- ・ **Page Setup (ページの設定)**：ページ設定のオプションを決める *Preferences* (優先) ウィンドウを開く

Tools (ツール)

ツールには次のオプションがあります。：

- ・ **Preferences (優先)**：ページの設定のオプションを決める *Preferences* (優先) ウィンドウを開く
- ・ **Select Language (言語を選ぶ)**：アプリケーションで使用される言語の選択が出来る。

Help (ヘルプ)

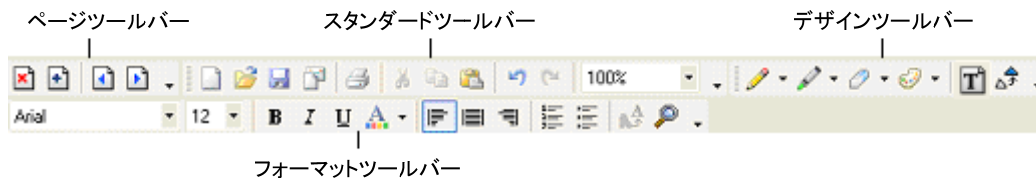


ヘルプメニューには次のオプションがあります。

- ・ **Help Contents (ヘルプ)** : ペン&インク エディターのアプリケーションのヘルプファイルを開く
- ・ **About (について)** : ペン&インク エディターのアプリケーションのバージョン情報を表示する

ツールバー

ペン&インク エディターのアプリケーションはアプリケーションの機能に素早くアクセスするいくつかのツールバーを含んでいます。



助言 :

ほとんどのアプリケーションのオプションはメニューバーとツールバー両方からアクセス出来ます。

ツールバーには次のものが含まれています :

- ページツールバー (48 ページを参照。)
- 標準 ツールバー (48 ページを参照。)
- デザインツールバー (49 ページを参照。)
- フォーマッティング (出力書式) ツールバー (50 ページを参照。)



注:

メニューバーで右クリックすると、ツールバーを表示/非表示を設定できます。又、**View (ビュー) → Toolbar (ツールバー)** を選択し、ドロップダウンリストの要求されたツールバーを選択する事によりツールバーの表示/非表示を設定できます。

ページ ツールバー

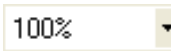
ページツールバーには次のアイコンが含まれています：

アイコン	名前	ショートカット	機能
	ページを削除する	Ctrl+D	ページを削除する
	ページを挿入する	Ctrl+I	現行ページの後に新しいページを追加する
	前のページ	Page Up	前のページに移動させる
	次のページ	Page Down	次のページに移動させる
	ツールバーオプション		このツールバーのアイコンを表示したり又は隠したりする事が出来る様にする

標準なツールバー

標準な ツールバーにはつぎのアイコンが含まれています：

アイコン	名前	ショートカット	機能
	新書き込み用紙	Ctrl+N	新しい書き込み用紙を開く
	開く	Ctrl+O	ファイルを開く
	保存する	Ctrl+S	ファイルを保存する
	E メール		P D F の添付としてご利用の初期設定の E メールプログラムを介してドキュメントをメールする
	印刷	Ctrl+P	ドキュメントを印刷する
	切り取り	Ctrl+X	ドキュメントの選ばれた範囲を切り取る
	コピー	Ctrl+C	ドキュメントの選ばれた範囲をコピーする

アイコン	名前	ショートカット	機能
	貼り付け	Ctrl+V	ドキュメントの切り取られた、又はコピーされた部分を貼り付ける
	取り消し	Ctrl+Z	最後に行われたアクションを取り消す/除去する
	やり直し	Ctrl+Y	Undo のキャンセル
	ズーム		指定された比率に視野のサイズを変える
	ツールバーオプション		このツールバーのアイコンを表示したり、又は隠したりする事が出来る様にする

デザインツールバー

デザインツールバーには次のアイコンが含まれています：

アイコン	名前	ショートカット	機能
	ペン		ペンツールを選ぶ
	マーカー		マーカー（蛍光マーカー）ツールを選ぶ
	字消し		ページの選ばれた部分を消去する
	色		現行のツールの色を変更する（ペン/マーカー）
	テキスト		テキストを直接ドキュメントに文字を打ち込む事が出来る様にして、テキストツールとしての役割を果たす
	図形入力		描く形状を完全にし、洗練して、形態認識としての役割を果たす
	ツールバーオプション		このツールバーのアイコンを表示したり/隠したりす

アイコン	名前	ショートカット	機能
			事が出来る様にする

フォーマッティング（出力書式） ツールバー

フォーマッティング ツールバーにはドキュメント中のテキストの書式設定ツールを含んでいます。この機能は、キーボードから直接入力された文字と、**Convert to Text(テキストに変更する)** のツールを使ってテキストに変更された文字にも使用することができます。このオプションについての詳細は65ページの*手書き*, (手書きの文字をテキストに変更) を参照。フォントスタイル変更は、テキストを入力する前に設定してください。入力された文字に付いては変更は出来ません。

フォーマッティングツールバーには次のアイコンが含まれています：

アイコン	名前	ショートカット	機能
	フォント		フォントを選ぶ
	フォントサイズ		フォントの大きさを選ぶ
	ボールド	Ctrl+B	フォントを肉太に変更する
	イタリック	Ctrl+I	フォントから斜体に変更する
	アンダーライン	Ctrl+U	フォントの下に線を引く
	テキストカラー		フォントの色を変える
	左揃え		テキストを左揃えにする
	中央揃え		テキストを中央に揃える
	右揃え		テキストを右に揃える
	ナンバーリング		テキストの段落に番号を付ける
	黒点		テキストに黒点を追加する

アイコン	名前	ショートカット機能
	テキストに変更	選ばれた手書きの文字をテキストに変更。Microsoft Tablet Reconizer がインストールされている場合表示されます。
	ファインド (検索)	ファインド (検索する) のウィンドウを開いて指定されたテキストを探す事が出来る様にする
	ツールバーオプション	このツールバーのアイコンを表示したり、又は隠したりする事が出来る様にする

ページのウィンドウ枠

ペン&インク エディターメインウィンドウの左側には幾つかのボタンがあるページ枠が含まれています。この範囲はドキュメントのページをコントロールし、各ページのサムネイルを表示する為に使用されます。

次のボタンはこのウィンドウ枠で利用出来ます：

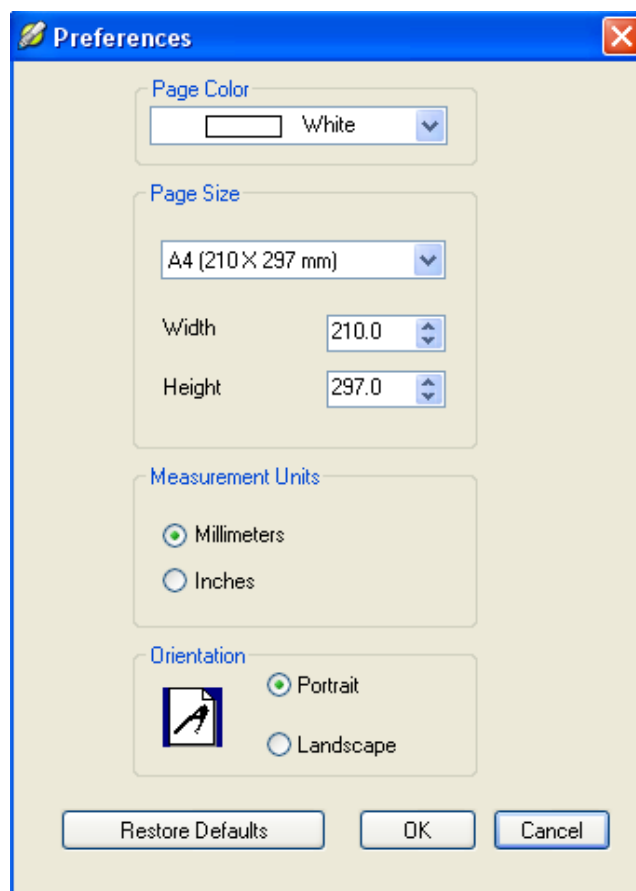
ボタン	クリックした時の結果
 及び 	ページウィンドウ枠を表示、又は隠す為にトグルする/切り替える
	ページウィンドウ枠を表示する
	ウィンドウ枠が、望む位置に置かれて、自由に動くパネルになる様、ダブルクリックする
	ページウィンドウ枠を閉じる

書き込み範囲

書き込み範囲の初期設定のページ色（白）を変更出来るのに加えて、この範囲にグリッド線（格子線）や余白ガイドを追加する事も出来ます。

➤ **ペン&インク エディターでページの色をセットする：**

- 1 メニューバーにおいて、ページ ➡ ページ設定又は ツール ➡ プレファレンスを選ぶ。ウィンドウが開きます：



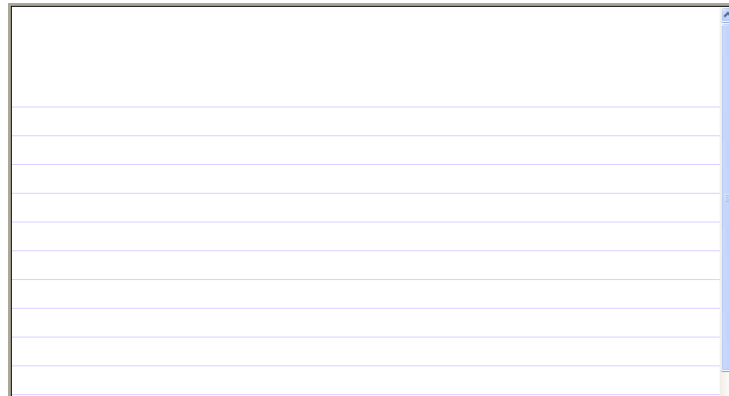
- 2 ドロップダウンリストの色を選んでページの色を変更してください。
- 3 **OK** クリックして、ご自分の設定を保存してください。

余白とグリッド

一枚の実物の用紙の様に、ペン&インク エディターのページを設定して、グリッド（又は線）や余白の両方を持つ様にする事が出来ます。

▶ ページグリッドを設定する：

- 1 メニューバーでは、View（ビュー） ➡ Grid（グリッド）を選んでください。
- 2 下記の希望するグリッド設定を選んでください。
 - **None**（初期設定）：グリッド線は表示されません。
 - **Legal**（リーガル）：水平なグリッド線（格子線）だけ表示します。



- **5 x 5:** 水平および垂直のグリッド線（格子状）両方を表示します。



➤ ページの余白を設定する：

- 1 メニューバーで、**View**（ビュー） ➡ 余白.を選んでください。
- 2 下記の希望する余白設定を選んでください。**None** (初期設定)：余白ガイドは表示されません。

- **Left**（左）：ページの左の余白の余白ガイドを表示します。



- **Right**（右）：ページの右の余白の余白ガイドを表示します。



編集

マウスペンはテキストや図面に線を引いたり、線を削除したり、絵を加えたり、色を変えたり多くの事が出来ます。加えて、手書き文字の認識がご利用のコンピューターでサポートされている時は手書きの文字をテキストに変更出来ます。ペン&インク エディターでは線やページによって素早く、又容易にご利用のドキュメントをカスタマイズ出来ます。

インクのプロパティ

次のインク プロパティをカスタマイズする事が出来、線/テキストのインクの次の操作を行う事が出来ます：



線の色（56 ページを参照）



線の幅（57 ページを参照）



マーカーの幅（57 ページを参照）



線及び/又はテキストを動かす（58 ページを参照）



線及び/又はテキストを消去する（58 ページを参照）



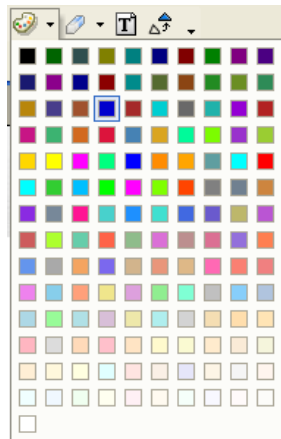
線及び/又はテキストを削除する（59 ページを参照）

 線の色の変更

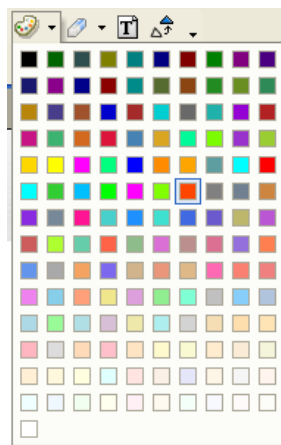
このツールを使って描こうとする線の色を決めてください。初期値の線の色は青ですが、簡単にお好みの色に変更可能です。

➤ 線の色を変更する:

- 1 色  ボタンのドロップダウン矢印をクリックしてください。次のウィンドウが表示され、ボックス中で現行の線の色を示します:



- 2 お好みの色を選んでください。選んだ色がボックスによってマークされます。ペン及びマーカのツールのインクの色には、選ばれた色が使用されます。

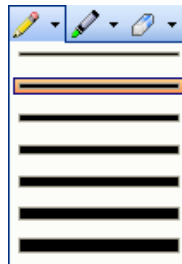


 線の幅の変更

このツールを使って、描こうとする線の幅を決めてください。初期設定では、線の幅は1ピクセルにセットされています。設定を変更し、簡単に線を細くしたり幅広くしたりする事が出来ます。

➤ **線の幅を変更する：**

- 1 ペンのドロップダウンの矢印をクリックして、線の幅のオプションのリストを表示してください。



- 2 線の幅を選んでください。

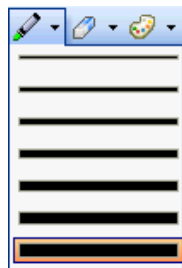
 マーカの幅の変更

このツールを使って、ページの情報を強調表示してください。初期設定では、マーカーツールの幅は1ピクセルにセットされています。

この設定を変更して、簡単に線をより細くしたり、又はより幅広くしたりする事が出来ます。

➤ **マーカの幅を変更する：**

- 1 マーカのドロップダウン矢印をクリックして、マーカの幅のオプションのリストを表示してください。



- 2 マーカの幅を選んでください。マーカは新しい幅の設定に従って強調表示します。

線とテキストを動かす

ペン&インク エディターは任意の文字や図形の書込みを容易に行うことが出来、デジタルデータに変換された文字や図形は、他のドキュメント等からのコピーや移動をスムーズに且つ簡単に行うことが出来ます。

➤ 線とテキストを動かす:

- マウスペンの左ボタンを押し、動かしたい線及び/又はテキストの周りの選択ボックスを引き出してください。そうすると、 アイコンが現れます。選択範囲をページの新しい位置に動かしてください。



線及びテキストの消去

ペン&インク エディターにはページの項目を容易に消去する事が出来る消去機能があります。消去する幅を自由に選択することが出来ます。

消去幅が最大のものは、一筆書きされたラインを一度に消す事が出来ます。その他の消し幅を選択した場合は、通常の消すゴムの機能になります。



助言 :

広い範囲を諸居する場合は、マウスモードで範囲を選び、選択された範囲を一括で消去すると便利で簡単です。

➤ 線とテキストを消去する:

- 1 消しゴムドロップダウン矢印をクリックして、消去幅を選んでください。



- 2 消去したい線やテキスト上に消しゴムアイコンを動かすと、消しゴムアイコンの下情報が消去されます。



助言 :

間違って消去した時は、**編集→ 取り消し** を選ぶか **Ctrl+Z** のショートカットを使って消去の取り消しをしてください。

線とテキストの削除

ペン&インク エディターは描いた線やテキストを容易に削除させる事が出来ます。

➤ 線又は、テキストを削除する：

- 1 マウスで削除したい線及び/又はテキストを含む範囲を選んでください。
- 2 ご利用のキーボードの削除を押すか、又は、メインのメニューの編集 ➡ 削除を選んでください。

ページ プロパティ

ページ プロパティのオプションではページ全体を変更する事が出来ます。ページ プロパティによって以下の項目のカスタマイズを行う事が出来ます。

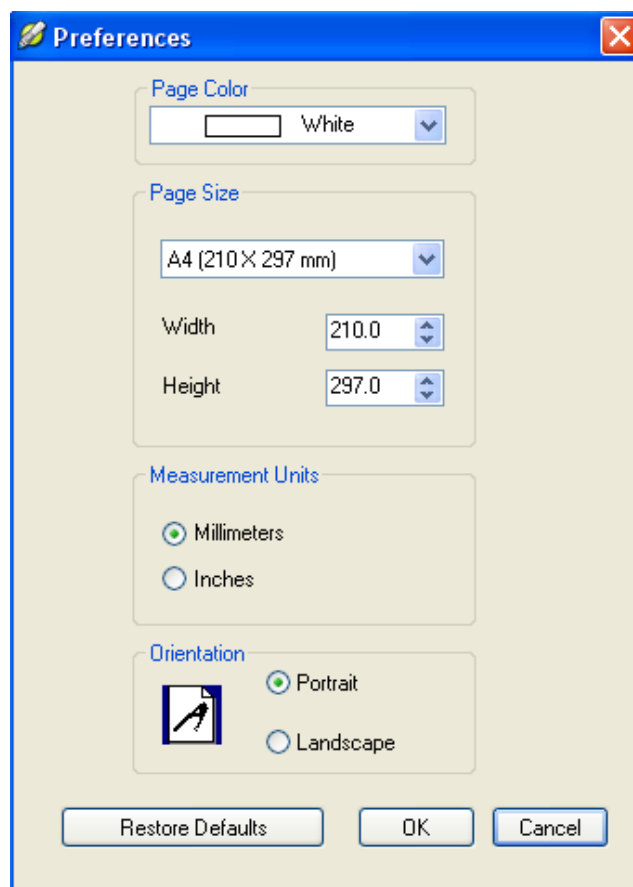
- ページの色（5 6 ページを参照。）
- ページのサイズ（5 6 ページを参照。）
- ページの回転（5 6 ページを参照。）
- 新しいページを挿入する。（6 1 ページを参照。）
- 現行のページを削除する。（6 1 ページを参照。）

ページの色の変更：

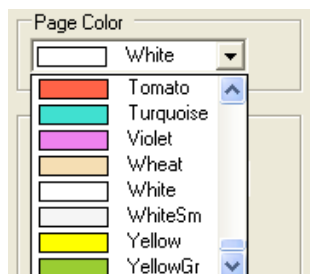
このオプションではページの色を決める事が出来ます。初期設定のページの色は白です。お好みの色に変更した場合、次に設定を変更するまで色はそのまま保持されます。

➤ ページの色を変更する：

- 1 メニューバーでは、ページ ➡ セットアップ又はツール ➡ プレッファレンス.を選んでください。プレッファレンスのウィンドウが開きます。



- 2 ページカラー（ページの色）のドロップダウン矢印をクリックし、色を選んでください。



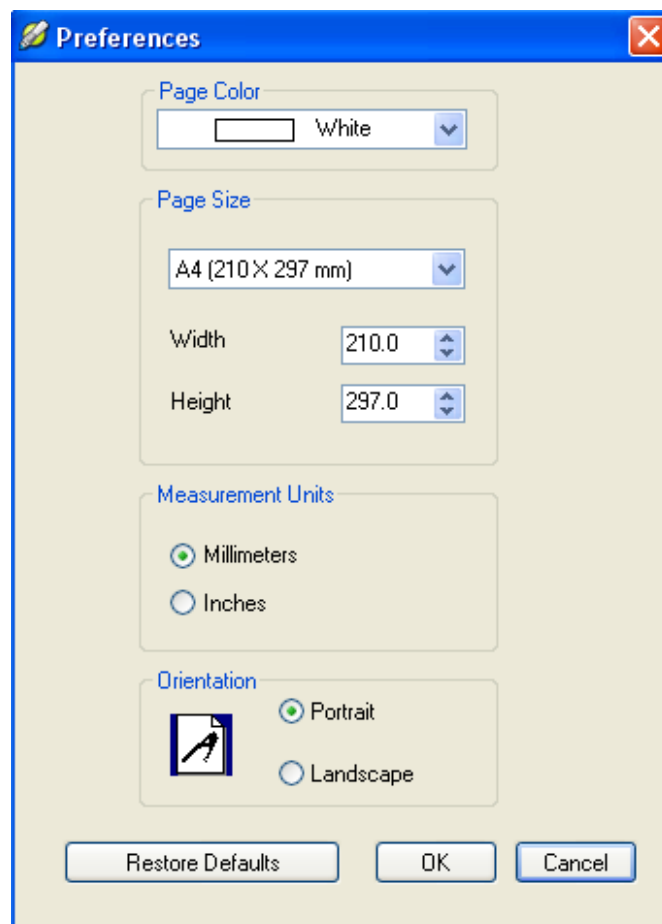
- 3 **OK** をクリックして、ご利用の設定を保存してください。

ページサイズの変更

このオプションによってページサイズを変えられます。初期設定のページサイズはA4です。これは、ページサイズを変更しない限り、新しいファイルを開いた時、ページサイズはA4になります。また、レターサイズとカスタムサイズを選ぶことができます。

▶ ペン&インク エディタのページサイズ設定:

- 4 メニューバーのセレクトページ➡ページセットアップ又はツール➡プレファレンスを選ぶと、プレファレンスウィンドウが表示されます



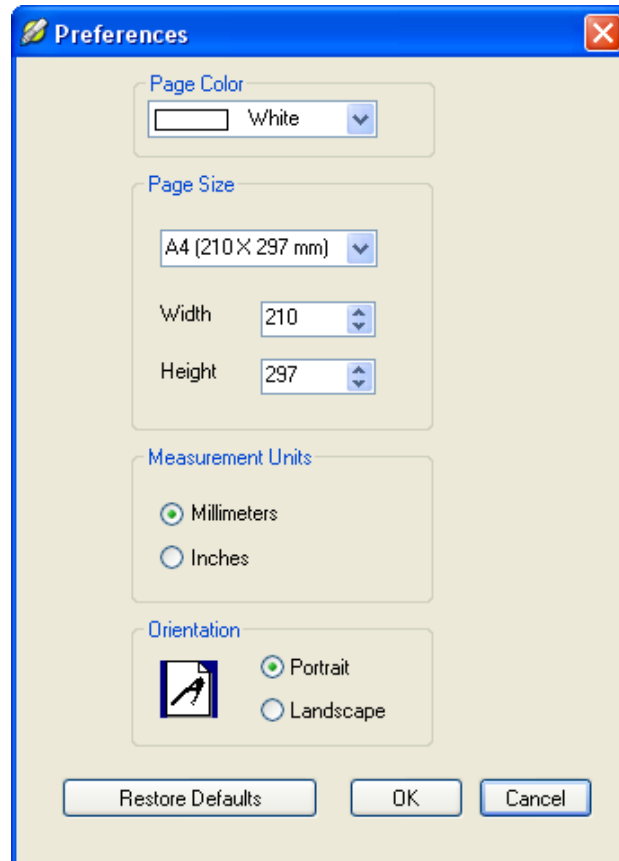
- 5 プルダウンリストから変更したいページサイズを選んでください。
選択できるサイズは、A4（初期値）、レター、カスタムサイズです。
カスタムサイズはページの幅と高さを変えられます。
- 6 サイズの単位を、ミリメートルと、インチから選べます。
- 7 OK をクリックすると、設定が保存されます。

ページの回転

ページを回転させられます。初期設定はポートレート（縦長）です。初期設定は変更されるまで保持され、新しいファイルを開いた時、ポートレートになります。

➤ ペン&インクエディタのページの回転の設定:

- 8 メニューバーセレクトページ ➡ ページセットアップ又はツール ➡ プレファレンスを選ぶと、プレファレンスウィンドウが開きます。:



- 9 プルダウンリストから回転方向を選ぶことができます。設定できる回転は、ポートレート（縦長）と、ランドスケープ（横長）です。

- 10 OK をクリックすると設定が保存されます。



新しいページの挿入

➤ 新しいページを挿入する：

- ツールバーの新しいページに挿入する  ボタンをクリックするか、又はメニューバーのページ➡ ページを挿入 を選んでください。この操作では現行のページの後にページを挿入します。



現行のページの削除

ペン&インク エディターはドキュメントの現行ページを除去する事が出来ます。必要に応じ、このプロセスを繰り返して、次々、幾つかのページを除去する事が出来ます。

➤ 現行のページを削除する：

- 除去したいページがページのウィンドウ枠に選択されている事を確かめてください。それから、現行ページを削除する  ボタンをクリックしてください。選択されたページが除去されます。

ドキュメントカスタマイズオプション

ペン&インク エディターはインクやページの機能を色々変え、ドキュメントをカスタマイズする多くのオプションを備えており、次の操作によって更なるドキュメントをカスタマイズが可能になります：

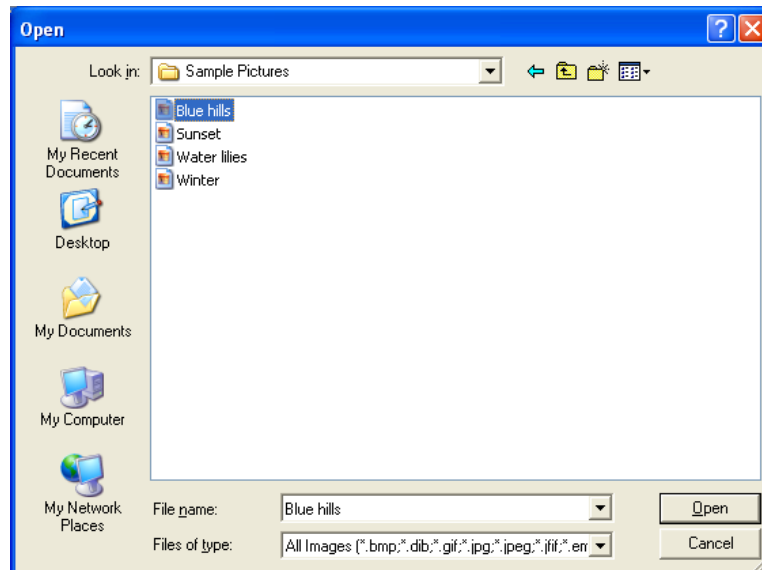
- 画像を挿入する（63 ページを参照。）
- 画像を移動し、サイズを変更する（64 ページを参照。）
- 画像を削除する（64 ページを参照。）
- 手書きの文字をテキストに変換する（65 ページを参照。）
- ページの全ての手書きの情報を回転させる（66 ページを見参照。）
- ハイパーリンクを挿入する（68 ページを参照。）
- ドキュメント内のテキストを検索する（69 ページを参照。）
- **形状認識** ツールを使用して形状を描く（69 ページを参照。）
- 形状を移動して、サイズを変更する（69 ページを参照。）
- 形状を削除する（69 ページを参照。）

画像の挿入

ペン&インク エディターは画像をページに追加する事を可能にします。

➤ 画像を挿入する：

- 1 メニューバーでは、**Edit（編集）** ➔ **Insert Picture（絵を挿入する）** を選ぶ。*Open（開く）* ウィンドウが開きます：



- 2 使用したい画像ファイルを選び、**Open（開く）** をクリックしてください。画像がページ上に現れます。必要に応じて、画像のサイズを変更したり、移動する事が出来ます。詳細については、69ページの **Moving or Resizing an Image（画像を移動する、又は画像のサイズを変更する）** を参照

画像の移動又はサイズの変更：

挿入された画像は必要に応じて、ページ上でサイズを変更し、移動する事が出来ます。

画像を移動するか、サイズを変更する：

- 1 画像をダブルクリックして、その画像を選んでください。画像は8つのアンカーの印が付けられており、それはサイズを変更する為に使用出来ます。



- 2 画像のサイズを変更する為には、要求される画像サイズが得られるまで、アンカーの一つを使ってドラッグインまたはドラッグアウトしてください。
- 3 画像を移動する為には、画像のどこでもをクリックして、それを新しい場所にドラッグしてください。

画像の削除

必要に応じ、画像を容易に取り除く事が出来ます。

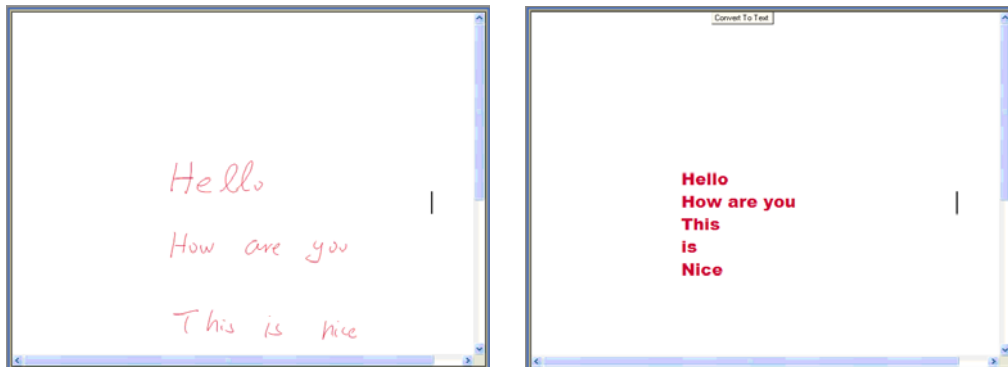
画像を削除する：

- 画像をダブルクリックして画像が除去される様にし、キーボードの **Delete** (削除) を押すか、又は、**Edit** (編集) → **Delete** (削除) を選んでください。画像はページから削除されます。

手書きの文字のテキストへの変換

ペン&インクは手書き認識の対応がご利用のパソコンになされている場合、容易に手書きの文字をテキストに変換出来ます。手書き認識の対応について詳しくは、8ページのシステム要求を参照してください。

例えば、次の図はテキストへの変換の前と後の手書きの情報を示しています：



元の手書きの文字

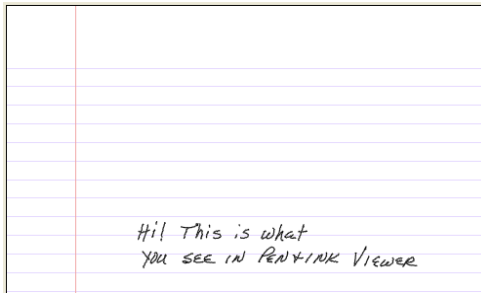
テキストへの変換後

➤ 手書きの文字をテキストに変換する：

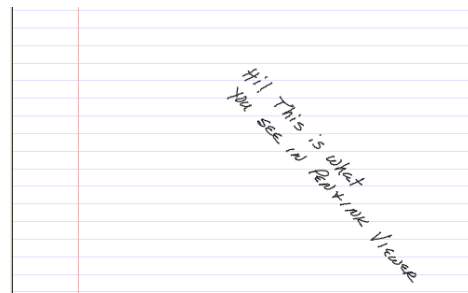
- 1 次の内の一つの事をして、テキストに変換される情報を選んでください：
 - ページのどこでもクリックして、全体のページ上の全ての手書きの文字をテキストに変換してください。
 - 変換するエリアを選定しない場合、ページ内全てがテキストデータに変換されます。
- 2 ツールバーの **Convert To Text** (テキストへ変換する)  をクリックしてください。選択された文字は、テキストに変換され置き換えられます。

ドキュメント情報の回転

ペン&インク エディターは **Rotate Ink**（インクを回転させる）を使って、ドキュメントに含まれる手書きの情報を回転させる事が出来ます。例えば、下記の図はページの元のコンテンツ（この場合、テキストのみ）とその同じテキストが45度に回転した後のものを示しています：



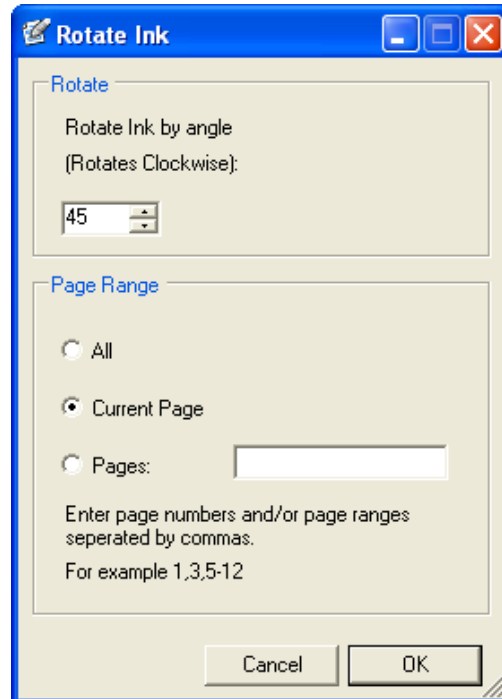
元のテキスト



45度回転後のテキスト

➤ ドキュメントの図面やテキストを回転させる：

- 1 メニューバーで、**Edit（編集）** ➔ **Rotate Ink（インクを回転させる）**を選んでください。インクを回転させるウィンドウが開きます。



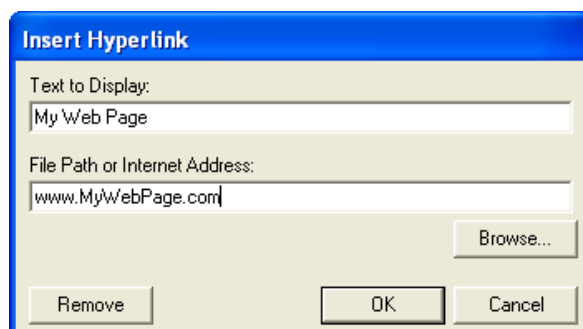
- 2 回転範囲では、図面/テキストを回転させる為の角度数値を指定してください。
- 3 ページの範囲では、次のラジオボタンの一つを選んでください：
 - **All（すべて）**：ドキュメントの全てのページの図面/テキストを回転させる。
 - **Current Page（現行ページ）**：ドキュメントの現行ページ上のみで図面/テキストを回転させる。
 - Pages（ページ）**：指定する特定のページのみで図面/テキストを回転させる。必ずコンマでページ数やページ範囲を分けてください。
- 4 **OK（はい）**をクリックしてください。そうすると、情報は指定された通り回転されます。

ハイパーリンクの挿入

ハイパーリンクは簡単にあなたのドキュメントに追加することができます。一度ハイパーリンクを設定したドキュメントは、ワンクリックで指定されたウェブページ又はファイルを開ける様になります。

➤ ハイパーリンクを挿入する：

- 1 メニューバーで **Edit (編集) ➔ Insert Hyperlink (ハイパーリンクを挿入する)** を選んでください。ハイパーリンクを挿入するウィンドウが開きます：



- 2 **Text to Display (表示するテキスト)** の欄に、リンクの為のドキュメント内に表示されるテキストを入力してください。
- 3 **File Path or Internet Address (ファイルパス又はインターネットアドレス)** 欄に、関連するインターネットアドレスを入力するか **Browse (閲覧する)** をクリックして、ファイルやそのファイルパスを指定してください。インターネットアドレスを指定する時には、ドキュメント内のリンクをクリックすると、指定されたウェブページが自動的に開きます。ファイル名を指定する時には、リンクをクリックすると、指定されたファイルが開きます。



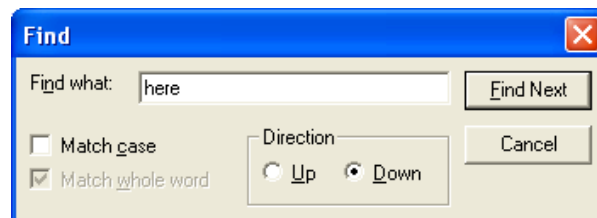
- 4 **OK (はい)** をクリックして、ご利用の設定を保存してください。

ドキュメント内のテキストを検索

ペン&インク エディターはドキュメント内の特定のテキストを検索する事が出来る検索機能を備えております。このオプションはドキュメントのテキストを探す為だけに使用可能で、手書き文字には適用されません。（テキストに変換後は適応されます）

➤ ドキュメント内のテキストを検索する：

- 1 メニューバーで、**Edit**（編集する）➔ **Find**（検索する）を選ぶか、又は、ツールバーの **Find**（検索する） アイコンをクリックしてください。検索ウィンドウが開きます：



Find what（何を検索する）ボックスで、検索のテキストを入力し、

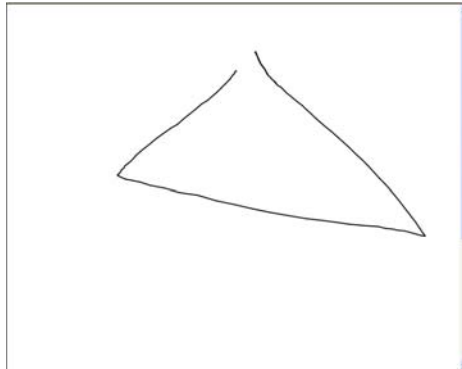
Find NEXT（次を検索する）をクリックしてください。特定されたテキストはページに強調表示されます。このテキストの次の発生を検索するには、**Find Next**（次を検索する）を再びクリックするか、又は、メニューバーの **Edit**（編集する）➔ **Find Next**（次を検索する）を選んでください。

形状認識を使って形状を描く

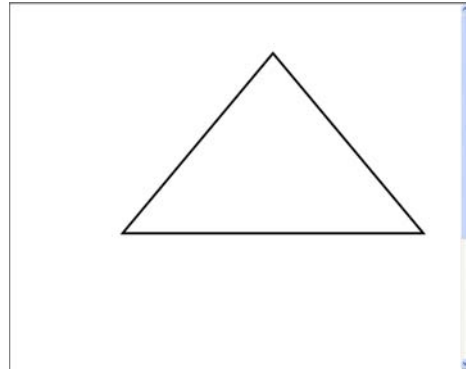
Shape Recognizer（形状認識） このツールを使用してあなたのドキュメントにシンプルな図形を簡単に加えることが出来ます。このツールはあなたが手書きで記入した図形を認識し、正確な形の図形に置き換える機能を持っています。

例えばあなたのドキュメントに三角形を追加したいとした時、ツールバーの **Shape Recognizer**（形状認識） をクリックし、適当な三角形を描いてください。形状を描いている際には必ずマウスペンのロックスイッチの下（左）ボタンを押してください。描いている時に、カーソルが小さい円に変化します。

三角形を描きマウスペンのロッカースイッチの下ボタンを押してください。ロッカースイッチを放すと、描いた形状が正確な形の図形に置き代ります。あなたがラフに図形を記入してもツールが自動的に認識し、正確な形へ置き換えてくれます。



ご自分の描画



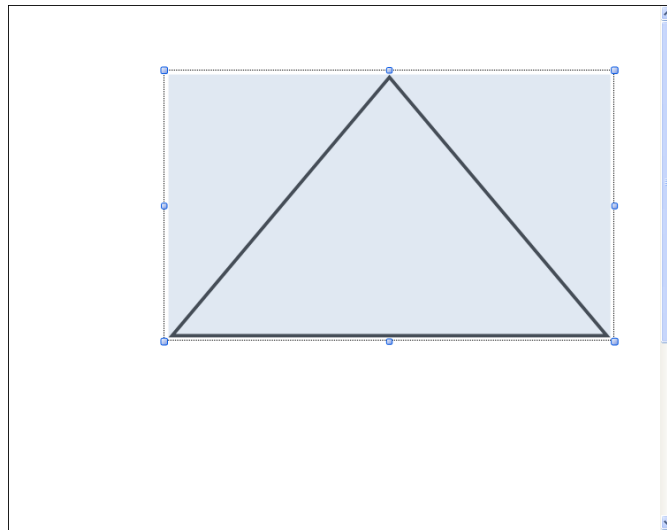
形状認識の描画

形状の移動又はサイズの変更

Shape Recognizer（形状認識）  ツールを使って描かれた形状を必要に応じ、ページ上でサイズを変更したり、移動したりする事が出来ます。

➤ 図形を移動又は、サイズを変更する：

- 1 図形を移動したり、サイズを変更するためには、図形を取り囲むボックスを表示させ、ボックスの周りには8個のアンカーが表示されます。



- 2 形状のサイズを変更する為には、アンカー上にカーソルをクリックしドラッグしてください。
- 3 形状を移動させる為には、形状のどこかをクリックし、マウスペンのロッカースイッチ下（左）を押し下しながら、新しい位置にドラッグしてください。

形状の削除

必要に応じ、**Shape Recognizer**（形状認識） ツールを使って描かれた形状を容易に除去する事が出来ます。

形状を削除する：

- マウスペンを使って、図形の回りの選択ボックスを表示させ、キーボードの **Delete**（削除）を押すか、又は、**Edit**（編集）→ **Delete**（削除）を選んでください。 その選択した形状はページから削除されます。

検索

ペン&インク エディター内にはいくつかの検索レベルがあります：

- ページ内
- ドキュメント内
- ドキュメントの間

これら検索レベルについて下記の項に記載されています：

ドキュメント内でのページからページへの移動

- **Previous Page (前ページ)**  及び **Next Page (次ページ)**  ボタン：ドキュメントの前ページ及び次ページそれぞれにジャンプするためにツールバーのこれらのボタンを使ってください。
- **ページウィンドウ枠のサムネイル**：ページウィンドウ枠にはドキュメントの各ページのサムネイルが表示されています。サムネイルをクリックして、ドキュメントの対応するページにジャンプしてください。



新規又は既存のドキュメントを開く

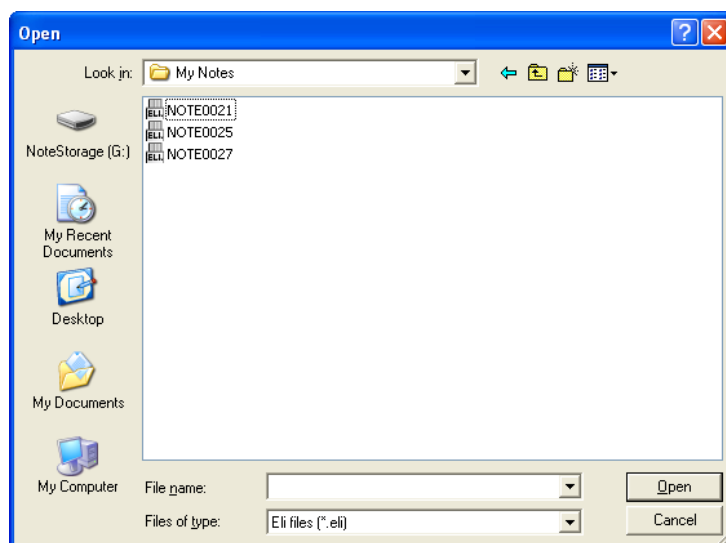
ペン&インク エディターを開くと、アプリケーションは空白のウィンドウを表示されます。ドキュメントの中身を変更するためには、ドキュメントを開く必要があります。保存された既存のドキュメントを開く事も、新規にドキュメントを作成することも出来ます。

➤ 新しいドキュメントを開く：

● **新しい空白のドキュメント**  ボタンをクリックしてください。新しいドキュメントを開きます。ドキュメントを作成中、**New (新しい)** ボタンをクリックすると、作成中のファイルを保存するか問合せウィンドウが表示されます。もし **YES(はい)** をクリックした場合、保存する場所とドキュメントに名前を付けるよう指示されます。もし **No (いいえ)** をクリックした場合、新しいファイルが開き、古いファイルは失われます。

➤ 現存するドキュメントを開く：

1 **Open (開く)**  ボタンをクリックしてください。Open (開く) ウィンドウが開きます。



2 閲覧して、開きたいファイルを選んで、**Open (開く)** をクリックしてください。選んだドキュメントが表示されます。

保存

ご利用のペン&インク エディターのドキュメントを保存する為に複数の方法が利用出来ます。次の方法を使ってドキュメントを保存する事が出来ます：

- **Save (保存する)**：この方法での保存は *.ant 拡張子の付いたドキュメントを保存します。
- **Save As (として保存する)**：この方法でのファイルの保存は *.ant 拡張子の付いたドキュメントを保存します。
- **Save Page As (としてページを保存する)**：このオプションは画像ファイル(JPEG, GIF, PNG or BMP)として現行のページのみを保存します。もし複数のページのドキュメントを持ち、写真として各ページを保存したい場合は、各ページ対して関連する手順を繰り返してください。詳しくは 8 1 ページを参照。

➤ **ドキュメントを保存する：**

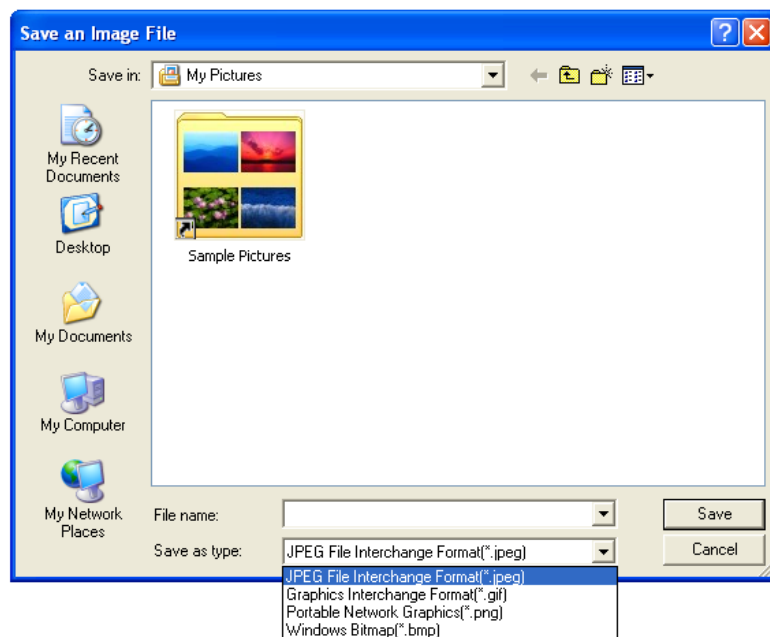
- ツールバーの **Save (保存する)**  ボタンをクリックするか、メニューバーの **File (ファイル) ➔ Save (保存する)** を選んでください。開いているウィンドウでは、そのファイルのファイル名と場所を指定して、**Save (保存する)** をクリックしてください。

➤ **新しい名前のドキュメントを保存する：**

- 1 メニューバーで、**File (ファイル) ➔ Save As (として保存する)** を選んでください。Save As (として保存する) のウィンドウが開きます。
- 2 そのファイルのファイル名と場所を指定して、**Save (保存する)** .をクリックしてください。

➤ 画像として現行のページを保存する：

- 1 メニューバーで、**Page (ページ) ➔ Save Page As (としてページを保存する)** を選んでください。Save an Image File (画像ファイルを保存する) のウィンドウが開きます：



- 2 **File name (ファイル名)** の欄では、その写真の名前を入力してください。
- 3 **Save as type (タイプとして保存する)** の欄では、そのファイルのファイルタイプを選んでください。次のオプションの一つを選ぶ事が出来ます：
 - **JPEG File Interchange Format** : JPEG 画像 (*.jpg)としてファイルを保存。これは初期設定です。
 - **Graphics Interchange Format** : : GIF 画像 (*.gif)としてファイルを保存。
 - **PORTABLE NETWORK GRAPHICS** : PNG 画像 (*.png)としてファイルを保存
 - **Windows Bitmap** : ビットマップ画像(*.bmp)としてファイルを保存。
- 4 **Save (保存する)** .をクリックしてください。

印刷

ペン&インク エディターのファイルを印刷する事が出来ます。

➤ ファイルを印刷する：

- 1 ツールバーの **Print** (印刷)  ボタンをクリックするか、メニューバーの **File** (ファイル) ➔ **Print** (印刷) を選んでください。 そうすると、*Print* (印刷する) ウィンドウが開きます。
- 2 必要に応じて、印刷条件を変更して **OK** (はい) をクリックしてください。

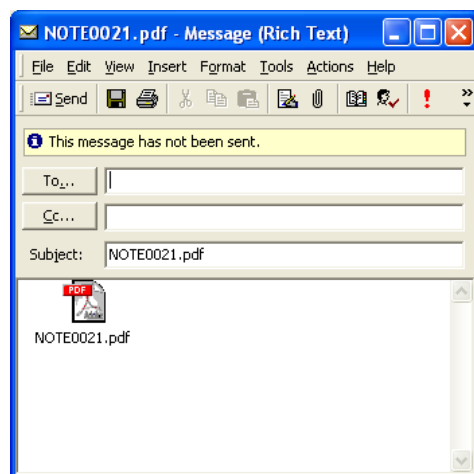
ドキュメントをEメールする

ペン&インク エディターで作成したファイルは、Eメールのメッセージに自動的に添付する事が出来るため、ドキュメントをEメールする手順を簡単にします。Eメールされるドキュメントは常にPDFのフォーマットで送られます。

注：デフォルトの E-mail 設定は、インターネットエクスプローラのツールバーインターネットオプションのタブを開き、デフォルトの E-mail クライアントをクリックして設定します。

➤ ドキュメントをEメールする：

- 1 ツールバーの **E-mail (Eメール)**  ボタンをクリックするか、メニューバーの **File (ファイル)** ➔ **Email As PDF (PDFとしてEメールする)** を選んでください。そうすると、ご利用の初期設定のEメールプログラムからEメールのウィンドウが開きます。ペン&インク エディターのドキュメントは自動的にPDFファイルとして添付されます。



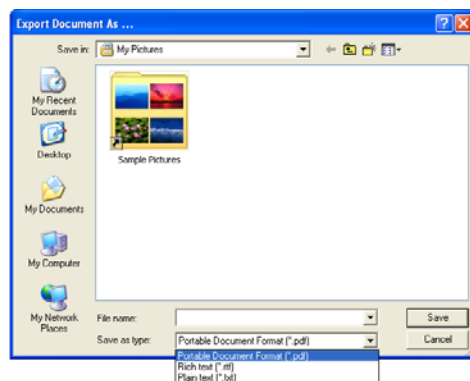
- 2 対象とする受信者を選ぶか、入力してください。通常のEメールメッセージを送る時の話題やメッセージを追加する事が出来ます。
- 3 **Send (送る)** をクリックしてください。ご利用のEメールプログラムは自動的にメッセージを送ります。

ドキュメントをエクスポートする

ペン&インク エディターは幾つかの異なったフォーマットのドキュメントをエクスポートします。エクスポートする為には、エクスポートする前に、まずペン&インク エディターのファイルを開いてください。

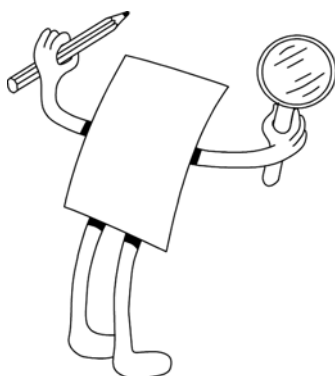
➤ ドキュメントをエクスポートする：

- 1 メニューバーで、**File**（ファイル） ➔ **Export**（エクスポート）. を選ぶと下図のウィンドウが開きます：



- 2 ファイル名の欄で、そのファイルの名前を入力してください。
- 3 **Save as type**（タイプとして保存する）の欄で、次のオプションの一つを選んでください：
 - **Portable Document Format（携帯ドキュメントフォーマット）**：PDF のフォーマット (*.pdf). のファイルをエクスポート。これは初期設定です。
 - **Rich text（リッチテキスト）**：RTF のフォーマット (*.rtf). のドキュメントをエクスポート。テキスト変換オプションがインストールされている場合、手書き文字はテキストデータに変換されて保存されます。
 - **Plain text（プレーンテキスト）**：テキストのみのフォーマット (*.txt) のドキュメントをエクスポート。手書き文字はテキストデータに変換されて保存されます。
- 4 **Save（保存する）** をクリックしてください。そのファイルは指定されたフォーマットでエクスポートされます

第5章



スナップショット アプリケーションの 使用



この章について

この章ではスクリーンや編集画像をキャプチャするスナップショットのアプリケーションの使い方について記載しています。次の項が含まれています：

- **概要**, 8 1 ページ、スナップショットのアプリケーションを使って行われる主な操作について説明。
- **スナップショット ツールバー**, 8 2 ページ、スナップショット ツールバー及びそのオプションについて説明。
- **キャプチャ**, 8 4 ページ、スナップショットを使って画像をキャプチャする為に利用出来る 2 つの方法について説明。
- **画像に書き込む**, 8 7 ページ、スナップショットを使って画像を捕える前に、画像に注釈をつけたたり、印をつけたたりする方法について説明。
- **ペン/マーカー設定の編集**, 8 8 ページ、スナップショット アプリケーションのペン及びマーカー設定の変更の方法について説明。

概要

スナップショットはスクリーンのスナップ写真を撮り、マウスペンで印をつけたり、注釈をつけたりする事が出来ます。スナップショットでは、3つの主な機能があります：

- 画像をキャプチャする（84ページを参照）
- 画像に書き込む（87ページを参照）
- ペン/マーカーの設定の編集（87ページを参照）

スナップショット ツールバー

下記に示されているスナップショット アプリケーションのツールバーはアプリケーションの各機能を素早く、容易に使う事ができます。ツールバーには次のボタンが含まれています：



アイコン	名前	機能
	キャプチャ	画面のキャプチャと、JPEG での保存
	ペン	ペントールの選択 キャプチャ画面への書込み
	マーカー	マーカーの選択 キャプチャ画面へのハイライト書込み
	カラー	ペン／マーカーの色の変更
	消しゴム	ペン／マーカーを使って書込んだラインの消去
	コピー	スナップショットのコピー 他アプリケーションでのペースト
	アンドウ	直前の動作のキャンセル
	リドゥ	直前のキャンセルの取消し
	エリア選択	パーツのエリア選択
	印刷	キャプチャスクリーンの印刷
	E-mail	キャプチャスクリーンの JPEG 変換とメール送信
	保存	スナップショットの保存

アイコン	名前	機能
	ツール	言語の選択
	ヘルプ	ヘルプ画面の表示
	閉じる	アプリケーションの終了

画像をキャプチャする

スクリーンのスナップショットは又、スクリーンキャプチャとも呼ばれます。2つのスナップショットーキャプチャリングのオプションがあります：



画像のキャプチャと JPEG イメージの保存



選択部分のキャプチャ

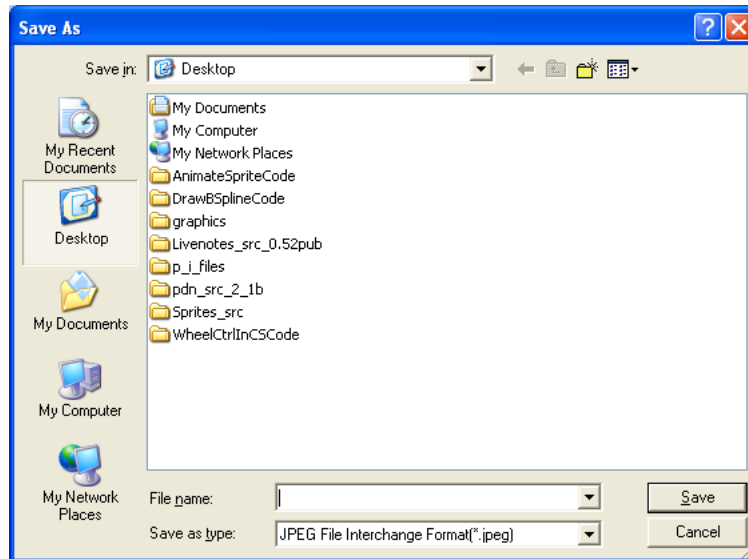


JPEG イメージを E-mail で送信する

➤ **スクリーンをキャプチャする：**

- 1 画面にキャプチャしたい画像を表示してください。
- 2 キャプチャアイコン  をクリックして下さい。

- 3 選択部分のキャプチャアイコン  をクリックし、マウスをドラックして左上と右下の四角形でキャプチャする範囲を決めます。
- 4 保存アイコン  をクリックすると保存ウィンドウが表示されます。

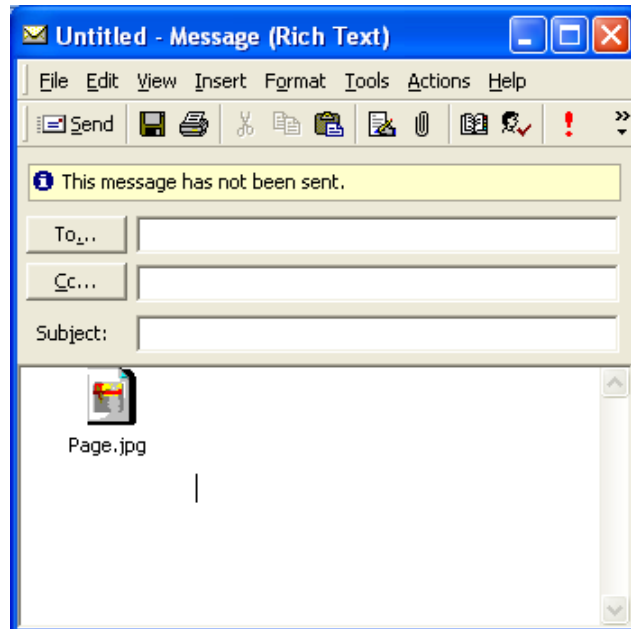


- 5 ファイルを保存したいホルダーを選んでください。
- 6 ファイル名を入力して保存をクリックして下さい。.

➤ **スクリーンイメージのキャプチャと E-mail:**

- 1 クリーンにキャプチャしたい画像を表示してください。スクリーンに表示されている全ての画像がキャプチャされます
- 2 E-mail アイコン  をクリックして下さい。

- 3 この操作では、デフォルトの E-mail プログラムが開かれ、キャプチャされた JPEG イメージが添付されます。



- 4 対象とする受信者を選ぶか、又は、入力してください。通常のエメールメッセージを送る時の題目及びメッセージを追加する事が出来ます。
- 5 **Send (送る)** をクリックしてください。メーラープログラムにより自動的にメッセージを送信されます。

画像上に書き込み

スナップショットはアプリケーションを使ってキャプチャする前に、画像に注釈をつけたり、印を付けたりする為に使用します。

➤ 画像上に書き込みをする：

- 1 スクリーンにキャプチャしたい画像を表示してください。スクリーンに表示されている全ての画像がキャプチャされます。
- 2 必要に応じて、ペン、マーカー及び字消しのツールを使って、キャプチャされる画像に注釈を付けてください。



- 3 次の操作のどちらかを行ってください：

- **Email**  をクリックして、85ページの手順に従ってください。
- **保存**  をクリックしてイメージデータをアップデートしてください。

ペン/マーカー設定の編集

スナップショットを使って注釈の編集を行う幾つかの方法があります。次のプロパティをカスタマイズし、スナップショットのペン/マーカーの次の操作を行う事が出来ます：

-  線画の幅（下記を参照）
-  マーカーの幅（89ページを参照）
-  消しゴム（89ページを参照）
-  線画の色（90ページを参照）
-  取り消しおよびやり直しの操作（91ページを参照）

ペンの線の幅の変更

初期設定ではペンの線幅は1ピクセルに設定されていますが、設定を変更する事により、簡単に線図を細くしたり、広したりする事が出来ます。

➤ 線の幅を変更する：

- 1 ツールバーの **Pen**（ペン）のドロップダウンの矢印をクリックしてください。



- 2 ご希望の線の幅を選んでください。新たに設定した線幅に従って線を引けます。

マーカーの幅の変更

マーカーの線の幅は1ピクセルに設定されていますが、この設定を変更し、マーカーの線を細くしたり広くする事が出来ます。

➤ マーカーの幅を変更する：

- 1 **Marker**（マーカー） ドロップダウンの矢印をクリックしてください。



- 2 マーカーの幅を選んでください。マーカーは、新しい幅の設定に従って、強調表示します。

消しゴム

線を引いている時にミスをした場合、消去する事が出来ます。

➤ 線を引いた部分を消す：

- 1 ツールバーの **Eraser**（消去する） ボタンをクリックしてください。
- 2 消去のアイコンを消去したい範囲の上に移動させてください。
- 3 消去される範囲の上に消去のアイコンをクリックし、ドラッグしてください。そうすると、その部分が消去されます。

線の色の変更

初期設定の線の色は青ですが、多くの色の中お好みの色に変更可能です。

➤ 線の色を変更する：

- 1 **Color(色)** ボタン  のドロップダウンの矢印をクリックしてください。次のウィンドウが表示され、ボックス内に現行の線の色を示します。



- 2 お好みの色を選択しクリックしてください。選択した色がボックス内に表示されます。以降選択された色が使用されます。

取り消し及びやり直しボタンの使用

スナップショットはあなたが行った操作を保存していますので、描いた線などを取り消したり、又、最後のアクションを繰り返して、アクションのやり直しを行う事が出来ます。例えば、線を描いて **Undo(取り消し)** をクリックして、その線を除去した場合、**Redo(やり直し)** をクリックすると、消去した線を再現させる事が出来ます。

➤ アクションを取り消す：

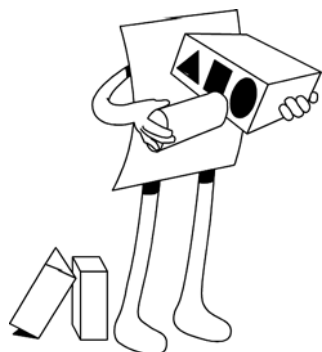
- **Undo(取り消し)**  ボタンをクリックするか、又は、クリック Ctrl + Z のショートカットを使用してください。

➤ アクションをやり直す：

- **Redo(やり直す)**  butt ボタンをクリックするか、又は、クリック Ctrl + Y のショートカットを使用してください。

This page is intentionally left blank.

第6章



マウスペンの他の アプリケーションと の使用

この章について



この章について

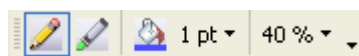
この章ではマウスペンと他のアプリケーションとの使い方について記載しています。これには次の項が含まれます：

- **マイクロソフト オフィス アプリケーション**、94 ページ、マウスペンのマイクロソフト オフィス アプリケーションの使用について説明。
- **グラフィック アプリケーション**、99 ページ、マウスペンに対応した他のグラフィック アプリケーションの使用について説明。
- **ゲーム アプリケーション**、100 ページ、マウスペンに対応したゲーム アプリケーションの使用について説明。

マイクロソフト オフィス アプリケーション

マイクロソフト ワード 及びパワーポイントでは、ペンの設定はマウスペンツールバーを介してコントロールされています。このツールバーはマウスペンのソフトウェアのインストール後、これらマイクロソフトアプリケーションに自動的に現れます。

パワーポイントのエディットモードでは、マウスペンのペンモードで使えますが、フルスクリーンモードではマウスモードで使えます。



注:

現状マウスペンにはマイクロソフト ワード及びパワーポイントに対応しています。例えばアウトLOOK等の追加のマイクロソフト オフィス アプリケーションへの対応は将来のソフトウェアバージョンにおいて対応予定です。

マウスペンのツールバーには次のアイコンが含まれています:

アイコン	名前	機能
	ペン	ペンツール
	マーカー	マーカー (蛍光マーカー) ツール
	色	線/マーカーの色の設定
	幅	線/マーカーの線幅の設定
	透明性	画像の透明度の設定

注:

マウスペンのツールバーがワード及びパワーポイント、或いはワードかパワーポイントで表示されない場合、ツールバーのどこかでロッカースイッチの上スイッチ (右) をクリックして、**ペン&マウスのツールバー** のチェックボックスを選んでください。もう一つの方法としてメインメニューから、**View (ビュー) → Toolbars (ツールバー) → Pen&Mouse Toolbar (ペン&マウス ツールバー)** も選ぶ事が出来ます。

使用できないゾーン

マウスペンをご使用の際、殆どのアプリケーションでは、殆どの場合レシーバの直前など使用できないゾーンがあります。しかしマイクロソフトオフィス アプリケーションではその様な使用できないスペースはなくなります。

編集

次のプロパティをカスタマイズし、マイクロソフト ワード及びパワーポイントで次の操作を行う事が出来ます：



線の色 (86 ページを参照)



線及びマーカの幅 (97 ページを参照)



マーカの透明性 (98 ページを参照)

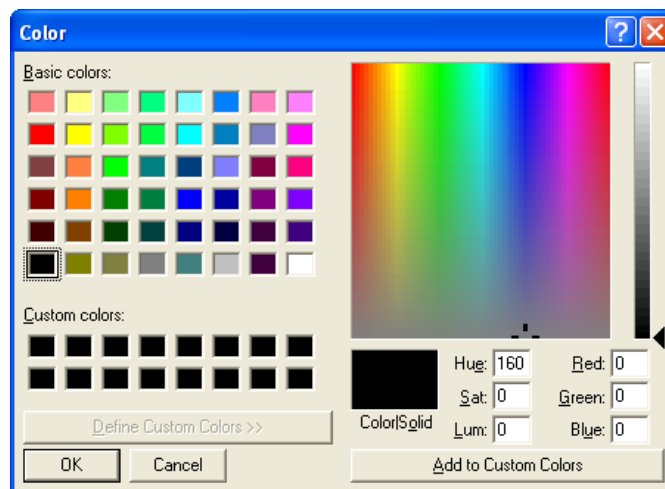


線の色の変更

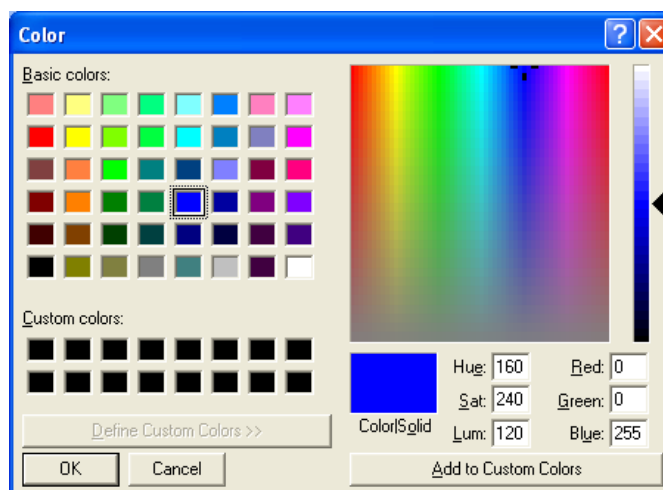
このツールを使って、描こうとする線の色を決めてください。初期設定の線の色は黒ですが、お好みの色に変更することが出来ます。

➤ 線の色を変更する：

- 1 ツールバーの **Color (色)**  ボタンをクリックしてください。そうすると、**Color (色)** のウィンドウが開きます：



- 2 お好みの色をクリックして、選んでください。選択された色は、ボックス内に表示され、**ColorSolid (色/立体)** ボックスが変化して、選択した色を表示します。



1 pt ▼ マーカーの幅の変更

このツールを使って、描こうとするマーカー（強調表示）の幅を決めてください。初期設定では、線/マーカーの幅は1ピクセルに設定されています。ただ、容易にこの設定を変更し、線/マーカーの幅をより細くしたり、又は、より広くする事が出来ます。

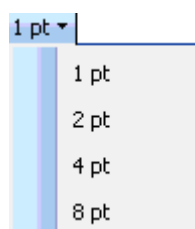


注:

この設定はペン及びマーカーのツールの両方の幅をコントロールします。

➤ 線/マーカーの幅を変更する：

- **Width (幅)** 1 pt ▼ のドロップダウン矢印をクリックし、線/マーカーの幅を選んでください。



40 % ▼ マーカーの透明性の設定

画像の透明性の設定は画像の透明度を設定します。重なった画像の上の画像がベタ（100%にセット）の場合、下の画像は見ることが出来ません。しかし、上の画像の透明度が（60%）の場合、下に別の画像がある事を見る事が出来ます。透明度の設定値が小さければ、ぼやけた画像になります。

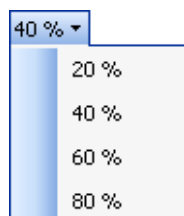


注:

Transparency (透明性) の設定は マーカーツールのみに適用されます、それは98ページに記載されています。

➤ マーカーの透明性を設定する：

- **Transparency (トランスパランシー/透明性)** 40 % ▼ のドロップダウン矢印をクリックして、要求される透明性の設定を選んでください。



グラフィック アプリケーション

マウスペンはペン&インク エディターやスナップショット アプリケーションに加えて、例えばマイクロソフト ペイント、JASC ペイント ショッププロ、又はアドビ フォトショップ等の他のグラフィックのアプリケーションと連動できます。これらのアプリケーションの場合、マウスペンはマウスの様に 動作します。

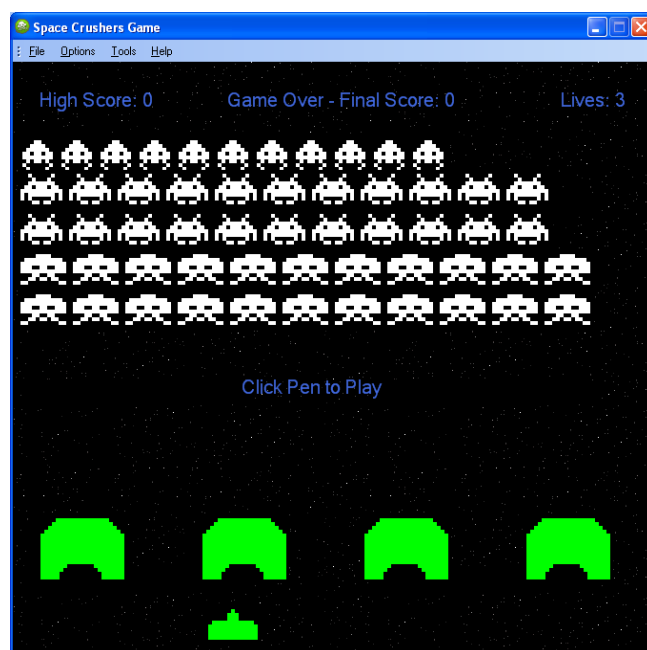
ゲーム アプリケーション

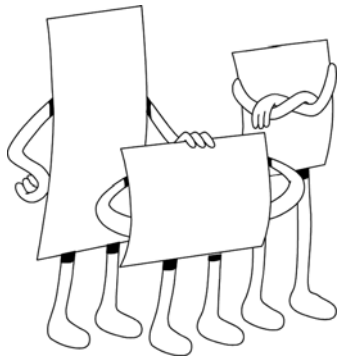
マウスペンは一般にマウスの代わりに使用されます。又、お気に入りのコンピューターゲームをする為の、大抵のゲームジョイスティックの代わりに使用する事も可能です。

スペースインベーダー

この製品にはマウスペンと一緒に使用する一連のアプリケーションの一部として、スペース インベーダーがあります。プレイする為には、

 アイコンを選択する事によって、ホイールからアプリケーションを開いて、それからマウスペンをクリックして、プレイをスタートしてください。





第7章

デバイス プロパティ

この章について



この章について

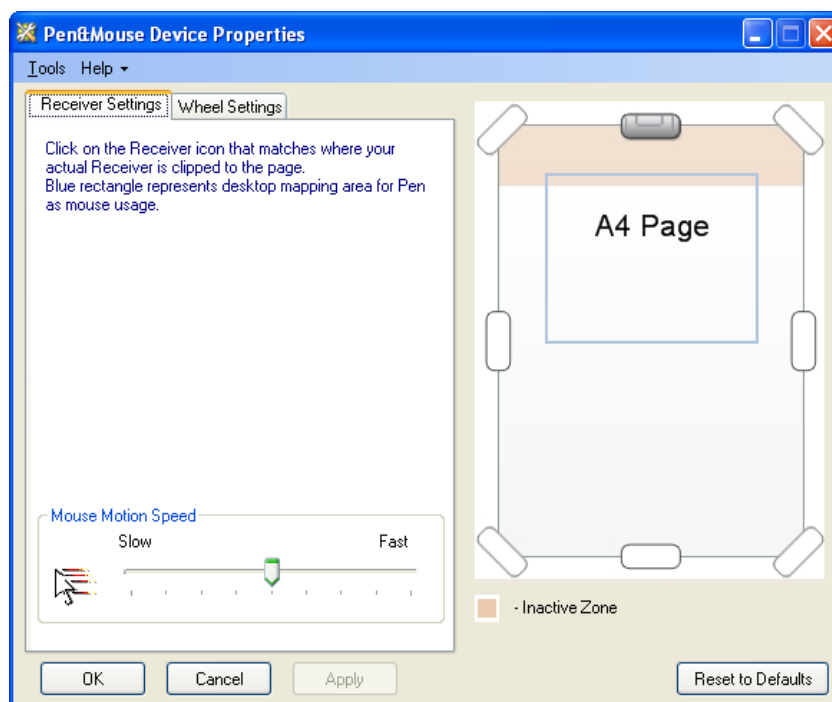
この章ではマウスペンのデバイスの設定をカスタマイズし、マウスペンの操作の様々な設定をする方法について記載しています。これには次の項が含まれています：

- **概要**、102 ページ、変更可能なマウスペンのデバイス プロパティについて説明。
- **レシーバーの設定**、104 ページ、レシーバーの位置設定の変更の方法や、マウスの移動速度をコントロールする方法について説明。
- **カスタム ホイール アプリケーションの設定**、108 ページ、アプリケーションをホイールに追加し、ホイールからアプリケーションを除去する方法について説明。

概要

上級ユーザーは、下記のペン&マウス デバイス プロパティ ウィンドウのマウスペンのデバイス設定をカスタマイズして、次の操作の要素をコントロールする事が出来ます：

- **レシーバーの設定**：レシーバー設定 タブを使って、物理ページ（108 ページを参照）上のレシーバーの位置、加えて、マウスの運動速度を設定してください。
- **カスタム ホイール アプリケーション**：ホイール設定 タブを使って、ホイール（107 ページを参照）から直接立ち上げられるアプリケーションを指定してください。



このウィンドウにアクセスする為には、次のものから一つの事をしてください：

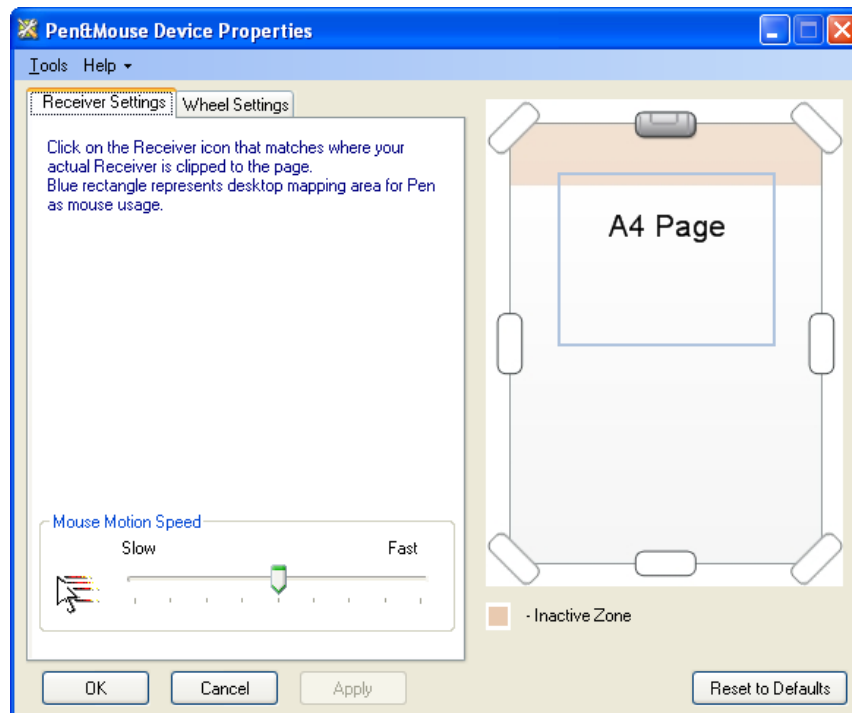
- **Start (スタート) ➔ Programs (プログラム) ➔ デジタルペン&マウス ➔ デバイス プロパティ**を選んでください。
- ホイールから、を選んでください。

ペン&マウス デバイス プロパティのウィンドウにはウィンドウの下部に次のボタンが含まれています：

- | | |
|--|--|
| OK (はい) | 変更を受け入れ、マウスペン デバイス プロパティウィンドウを閉じる |
| Cancel (取消し) | 変更を受け入れる事無しに、マウスペン デバイス プロパティのウィンドウを閉じる |
| Apply (適用) | 変更を適用し、マウスペン デバイス プロパティのウィンドウを開いたままにしておく |
| Reset to Defaults (初期設定にリセットする) | 全ての設定を初期設定にリセットする |

レシーバーの設定

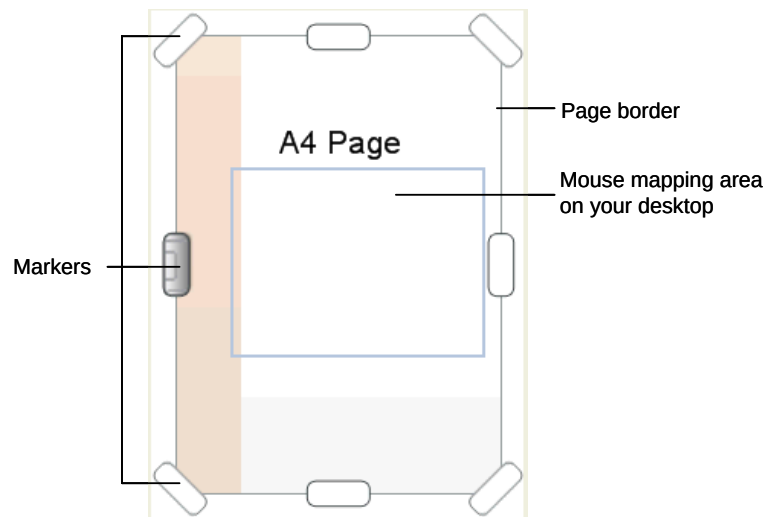
初期設定では、ご利用のマウスペン及びレシーバーはレシーバーが A 4 ページの上部中央に設定されています。



ウィンドウの右側の範囲はレシーバーの位置、ページの縁及びマウスのカバー範囲を示しています。このウィンドウ枠の上端の範囲は”使用されていないゾーン”又は、レシーバーによる受信が限定されたり、又は効果の弱い範囲（用紙上のレシーバーの位置の2センチ以内）を示しています。

ウィンドウの右側のページの縁の内側のボックスはマウスペンを使用できる用紙の範囲を示しています。

レシーバー設定のタブの交換マーカーの任意の一つをクリックする事により、レシーバーの位置の設定を変更出来ます。例えば下図に示されるように、左中央のマーカーをクリックすれば、このシステムでは、レシーバーが用紙の右側のエリアを検出できる設定になります。

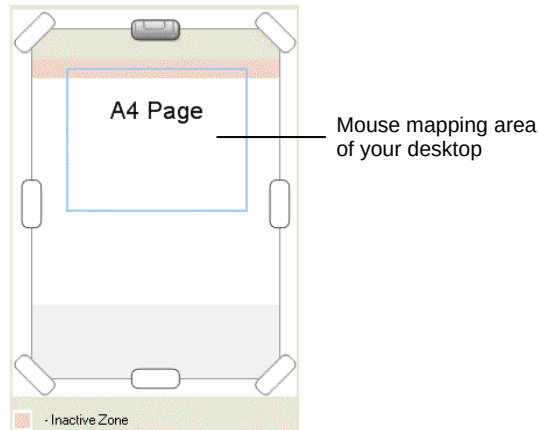


➤ レシーバーの設定を変更する：

- 1 103ページに記載されている方法の一つを使って、マウスペンデバイス プロパティのウィンドウを表示してください。
- 2 レシーバー設定のタブを選んでください。
- 3 レシーバーを置きたいと思う用紙の場所に対応するマーカーを選んでください。
- 4 **OK (はい)** をクリックして、設定を保存してください。

マウスの移動速度の設定

マウスの移動速度の設定では、あなたの手の動きとマウスの動きの連動性を設定できます。ウィンドウの右側のページの縁内の青い四角形がご利用のデスクトップのマウスの移動可能範囲を表します。それはマウスの実際の移動の範囲を示します。



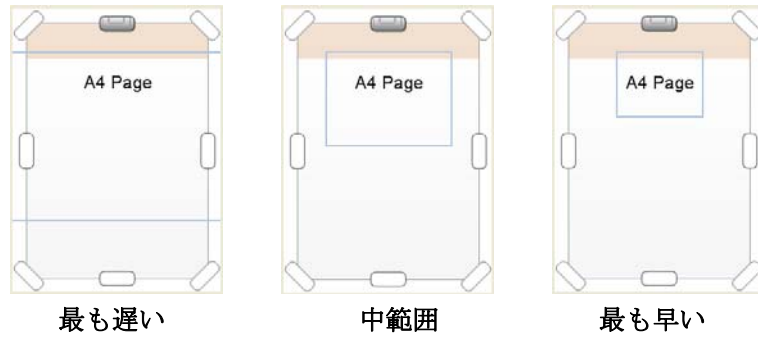
➤ マウスの移動速度をセットする：

ペン&マウス デバイス プロパティのウィンドウのレシーバー設定のタブで、スライダーの位置を調節して、マウスの速度を変更してください。



Slow (遅い) に向けてスライダーを動かすとマウスの速度をより遅くさせ、**Fast (速い)** に向けてスライダーを動かすと、マウスの速度をより早くさせます。

スライダーの位置を変更すると、ウィンドウの右側の青い三角形の大きさがそれによって変化します。



(初期設定)

- 5 **OK (はい)** をクリックして、設定を保存してください。

カスタムホイールのアプリケーションの設定

マウスペンのロッカースイッチの中央を押すと、マウスペンアプリケーションをホイールから直接立ち上げる事ができる、ホイールがスクリーン上に表示されます。

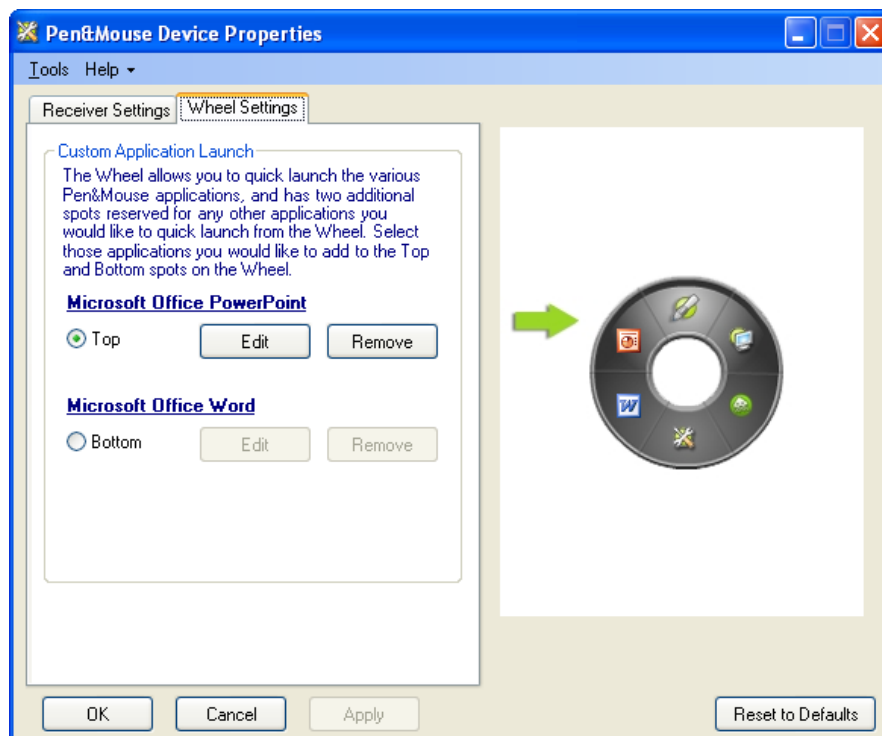
ホイールには、2つのユーザーが設定可能な空ホイールスイッチが左上と左下にあり、ホイールから直接立ち上げたい他のアプリケーションを設定できます。



初期設定では、これら2つの指定された位置は、あなたのパソコンに既にマイクロソフト ワード及びパワーポイントがインストールされていた場合、自動的にマイクロソフト ワード及びパワーポイント設定されます。

もしあなたが別のアプリケーションを登録したい場合、例えばマイクロソフト社のパワーポイントを登録すると、ホイールには自動的にパワーポイントのアイコンに置き換えられます。

ホイールから立ち上げられたカスタムアプリケーションは、マウスペン & マウス デバイス プロパティのウィンドウのホイール設定のタブで決められます。



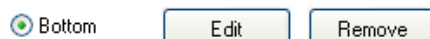
➤ ホイールにアプリケーションを追加する：

- 1 マウスペン&マウス デバイス プロパティのウィンドウのホイール設定のタブで、**Top**（上）又は**Bottom**（下）のラジオボタンを選択する事によって、アプリケーションを追加したいホイールの位置を選んでください。

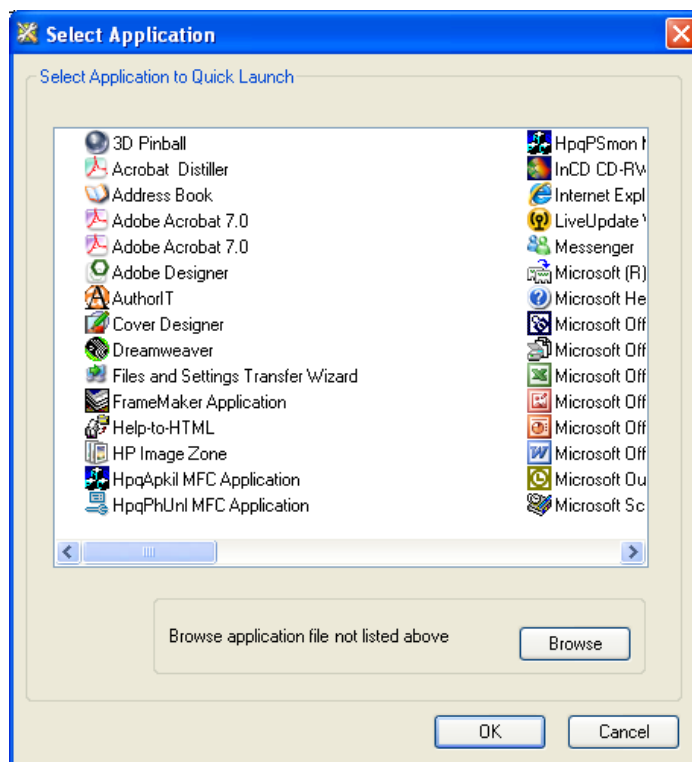
Microsoft Office PowerPoint



Microsoft Office Word

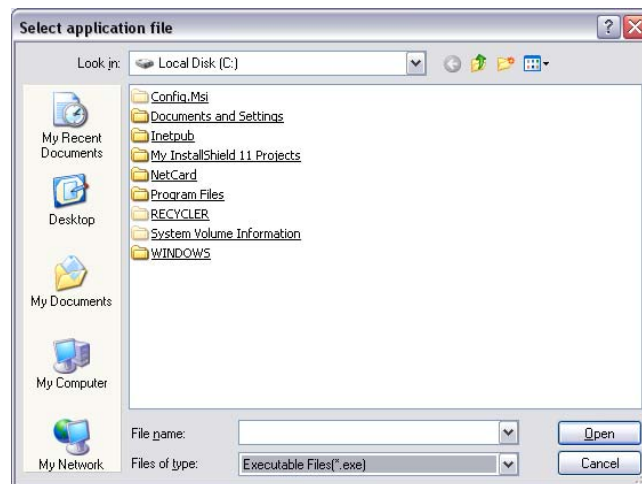


- 2 **Edit**（編集）をクリックしてください。 *Select Application*（アプリケーションを選ぶ）のウィンドウが開きます：



このウィンドウはご利用のパソコンにインストールされているアプリケーションのリストを表示します。

- 3 ホイールに追加されるアプリケーションを選ぶ為に、次のものの中から一つの事をしてください：
- **Select Application**（アプリケーションを選ぶ）のウィンドウ内のアイコンをクリックして、**OK（はい）** をクリックしてください。
 - **Browse（閲覧する）** をクリックしてください。**Select application**（アプリケーションを選ぶ）のファイルのウィンドウが要求されるアプリケーションを指定する所に開きます：



実行ファイルを見つけて **Open（開く）** をクリックしてください。
ペン&マウスデバイスプロパティのウィンドウは再表示されます。

- 4 **OK** をクリックして、設定を保存し、そしてウィンドウを終了させてください。ホイールが、ホイールの指定された位置で選択したアプリケーションのアイコンを表示する事に注目してください。例えば下の図は、アドビ アクロバットのアプリケーションが、マイクロソフト ワードのアプリケーションを取り換えて、ホイールに追加された事を示します。



- 5 [選択の] ステップ 1-4 を繰り返して、2 番目のカスタム アプリケーションを追加してください。

➤ ホイールからカスタム アプリケーションを除去する：

- 1 ペン&マウス デバイス プロパティのウィンドウのホイール設定のタブで、対応する **Top**（上） 又は **Bottom**（下） のラジオボタンを選択する事によって除去したいアプリケーションを選んでください。
- 2 **Remove**（除去する）をクリックしてください。指定されたアプリケーションがホイールから削除されます。



付録 A

トラブル シューティング

この付録はマウスペンで動かす際に直面するよくある問題やそれらの解決方法について記載しています。それには次の項が含まれています：

- **インストール** 114 ページ、インストールの過程に関連した問題やそれらの解決方法について説明します。
- **マウスペンの操作** 115 ページ、マウスペンの操作に関連した問題やそれらの解決方法について説明します。
- **スナップショット** 116 ページ、スナップショット アプリケーションに関連した問題やそれらの解決方法について説明します。
- **マイクロソフト オフィス** 116 ページ、マイクロソフト オフィス アプリケーションに関連した問題やそれらの解決方法について説明します。

インストール

この項はインストールのプロセスに関連した問題やそれらの解決方法について記載しています。

● インストールのプロセスの途中で、パソコンはなぜ再起動しようとするのか？

マウスペンのソフトウェアを起動する為には、MSI(The Microsoft(r) Windows(r) Installer)がご利用のパソコンにインストールされていなければなりません。もしまだインストールされていない場合は、それはソフトウェアのインストール中に自動的にインストールされます。インストール後、ご利用のコンピューターを再起動しなければなりません。この様に要求された再起動後は、インストールのプロセスは再起動しないで続きます。。

● マウスペン及びレシーバーはなぜ適切にインストールされなかったのか？

インストール中、不適切なタイミングでご利用のパソコンの USB ポートにレシーバーをつなげたのではないかと思います。マウスペンのソフトウェアが適切にインストールされた後に、ご利用のパソコンにレシーバーをつなげてください。

マウスペンの操作

この項はマウスペンの操作に関連した問題やそれらの解決方法について記載しています。

● レシーバーがマウスペンを”認識”しないのですが、どうしたら良いのでしょうか？

レシーバーとマウスペンの間には受信や信号に影響を与える幾つかの要因があります。まず、その二つのデバイスの間に何か遮るものがあるはいけません。例えば、赤外線のを信号を遮る物体がレシーバーとマウスペンの間にあってはならないと言う事です。

ペンの持ち方にも注意してください。もしレシーバーとペン先を遮るようにペンを持った場合、レシーバーはマウスペンを検知出来ません。また、騒音の中等も受信に影響を与えます。

● どうやってマウスペンの電池を交換しますか？

34ページのマウスペンの電池の挿入,を参照してください。ペンの電池の交換方法について記載してある説明書があります。

● なぜペンモードは作動しなくて、そのペンはマウスとしてうまく作動するのですか？

マウスペン対応のアプリケーションが使える状態にある事をチェックしてください。もしそうでない場合は、例えばペン&インク エディター又はスナップショット等のマウスペン対応のアプリケーションを選んで再び試してください。

● ペンを動かさない時に、なぜカーソルが動くのですか？

ペン先を固定していても、ペンを持つ角度を変えるとカーソルは動いてしまいます。

● 通常のマウス動作がおかしいのですが？

マウスペンを使った後では PC から少し離れた所にペンを置いて下さい。もしペンが PC に極近いところにあるとペンを使ってから 30 秒間は通常のマウス動作と競合する事があります。

スナップショット

この項はスナップショット アプリケーションに関連した問題やそれらの解決方法について記載しています。

● なぜペンは突然ペンモードからマウスモードに切り替わるのですか？

ホバリングしている時、カーソルの位置によって（上部のコマンドラインの位置）は、通常のマウスポインターに変わります。

マイクロソフト オフィス

この項はマイクロソフト オフィスに関連した問題やそれらの解決方法について記載しています。

● なぜ描画が” ジャンプ” した様に見えるのですか？

タスクバーを閉じたり、又はツールバーを動かしたりした後に、線画は時々、” ジャンプ” し始めます。ウィンドウのサイズを変更して、（例えば最小にしてから元の大きさに戻す）この問題を解決してください。

● ペンのカーソルの姿が消えてしまいました。どうしたら良いでしょうか？

View（ビュー） → Document Map（ドキュメントマップ） → Thumbnails（サムネイル）を選んでいる時に、ペンのカーソルは現れません。書き込みは出来ませんが、リアルタイムでは出来ません。ウィンドウのサイズを変更して、この問題を解決してください。

● なぜペンが突然適切に作動しないのか？

これには幾つかの理由があります：

- 上下の余白部分を隠すか、又は表示することが出来ますが、マウスペンはページが開かれている状態でのみ作動します、そして、ページのサイズを変更（しばしば他の問題を解決しますが）しても助けにはなりません。
- ツールバーを動かして、ツールバーの行数を変更する時は、時々、ペンは正常に作動しません。ウィンドウのサイズを変更して（例えば最小にしてから元の大きさに戻す）この問題を解決してください。
- 数ページのドキュメントで作業している時に、ペンはカーソルがあるページ上（スクリーン上に現れるページ上）でのみ動作します。もしカーソルが作業を行おうとしているページ上に無い場合はまず、現行のページ上をクリックし（マウスモードで）そのページ上にカーソルを出さなければなりません。
- パワーポイントでは、*Notes*（ノート）のウィンドウ又は、スライドビューワーでページを移動させたときには、スライド画面の上をマウスで押してから書き始めてください。もし、スライド上で書こうとしてなにも現れない場合は、マウスモードに変更し、望みのスライド上でペンを押して（そのスライドを選ぶ）からペンモードに変更してください。

● ペン及びマウスモードを切り替えるために、ロッカースイッチを押しますが、その時になぜホイールになってしまうのか？

マイクロソフト オフィスドキュメントが選択されている事を確かめてください。

ワードの時には印刷レイアウト(P)、パワーポイントの時には標準(N)

モードでペンを使って下さい。この選択はどちらのソフトでもメインメニューの「表示(V)」を選ぶことで出来ます。その他の表示モードではロッカースイッチを押しても Pen モードにはなりませんので書けません（Word の Web レイアウトは例外で書けます）

- マウспен&マウスのツールバーがツールバーのメニューに現れない場合、どうやって起動させたら良いのでしょうか？

表示(V)→ツールバー(T)を選び Pen&Mouse Toolbar にチェックを入れて下さい。(Office 2003 と Office2007 のワードとパワーポイントがサポートされており Office2000 及びそれ以前の Office はサポートされておられません)

- なぜマウспен&マウスのツールバー設定への変更がツールバーに現れないのでしょうか？

幾つかのドキュメントが開かれている時に、一つのドキュメントの色、幅、及び透明さを変更する事は、ツールバー上の他のドキュメントの設定の全てを変更します。しかし、変更が行われた現行ドキュメントのツールバーではそれは起こりません。ページを新たにし、最新の設定を見てください。

現行のソフトは自動的に反映されていますので UG の間違いだと思っています。

- なぜ手書きの認識が作動しないのか？

手書きはマイクロソフト ワードで見つけられる機能です。従って、それはマイクロソフトによってサポートされているもので、マウспенではサポートされていません。



注:

マイクロソフト ワードの手書き機能はマウスモードでのみ作動します。

- スクロールダウンする時に現れる複数のペンのアイコンはどのように除去しますか？

スクリーンを新しくしてください。複数のアイコンが消えます（例えば画面レイアウトを変えとかスクリーンサイズを変える）。

- なぜパワーポイントで描けないのですか？

あるパワーポイントのテンプレートでは、線画の色は自動的に”線無し”にセットされます（バックグラインドの色とペンの色が同じ時）。もしこれがそのケースの場合、ペンで書いた時には線画は現れません。線画の色設定を変更して、この問題を解決してください。

● **取り消しをクリックする時、なぜ描いた線は消えないのですか？**

一つの取り消しは十分ではありません。ある場合、線が消えるには4つの取り消しの操作まで要します（線の位置情報、太さ等の情報で線が形成されているからです）。

● **なぜマウспен&マウスのツールバーはマイクロソフト アウトルックで現れないのですか？**

マウспенがマイクロソフト ワードで動作しても、マイクロソフト アウトルック上では使えません。もしアウトルックがその初期設定のエディターとしてマイクロソフト ワードを使用する場合、**マウспен&マウス**のツールバーが見えるかも知れませんが、そのボタンは作動しません。もしロッカースイッチをクリックした場合、ペンは現れずホイールが現れます。